

# 2013年9月期 決算説明会

シミックホールディングス株式会社

2013年11月14日

# 2013年9月期 決算概要

(2012年10月1日～2013年9月30日)

取締役常務執行役員  
CFO 望月 渉

# 事業セグメントとグループ各社

セグメント	商品・サービス	シミックグループ各社（2013年9月末時点）
<b>CRO事業</b>	製薬企業の医薬品開発支援に係る業務	シミックホールディングス(株) シミック(株) シミックPMS(株) (株)シミックバイオリサーチセンター CMIC Korea Co., Ltd. CMIC(Beijing) Co., Ltd. CMIC ASIA-PACIFIC, PTE. LTD. CMIC ASIA PACIFIC (MALAYSIA) SDN. BHD.
<b>CMO事業</b>	製薬企業の医療用医薬品および一般用医薬品などの製造支援および分析化学サービスに係る業務	シミックCMO(株) シミックCMO富山(株) (株)応用医学研究所 CMIC CMO Korea Co., Ltd. CMIC CMO USA Corporation
<b>CSO事業</b>	製薬企業の医薬品等の営業・マーケティング支援に係る業務および医薬・医療業界に特化した人材紹介・人材派遣等に係る業務	(株)シミックエムピーエスエス (株)シミックBS エムディエス・シーエムジー(株) ※
<b>ヘルスケア事業</b>	SMO業務、ヘルスケア情報サービスなど、主に医療機関や患者、一般消費者の医療や健康維持・増進のための支援業務	シミックホールディングス(株) サイトサポート・インスティテュート(株) (株)ヘルスクリック
<b>IPD事業</b>	診断薬やオーファンドラッグなどの開発および販売に係る業務	シミックホールディングス(株) (株)オーファンパシフィック

青字表記は海外。※印は関連会社。

- 株式会社シミックBSは、当第3四半期連結会計期間よりヘルスケア事業からCSO事業に変更しております。セグメント別の業績の前年同期比増減額および率につきましては、当該変更後の区分に基づいて比較しております。
- シミックCMO(株)は2013年10月1日付でシミックCMO富山(株)を吸収合併しました。

# 2013年9月期 総括

◎ 業績	売上高	50,934百万円	前年比1.3%増加
	営業利益	4,156百万円	前年比6.1%増加

中期計画（2012年11月公表）に基づき、既存事業の強化及び新規施策に取り組む

## ・CRO事業の強化

2013年4月  
2013年5月

シミックPMS(株)が営業開始し、PMS事業を強化  
マレーシア現地法人を設立し、アジア地域におけるCRO事業の強化

## ・CMO事業の強化

2013年5月  
2013年8月

JCLバイオアッセイと提携し、分析化学サービス等の事業分野の強化  
田辺三菱製薬と足利工場の譲り受けに関して基本合意

## ・CSO事業の伸長

2012年11月

ヨーロッパ最大級CSO「Ashfield」との業務提携

## ・IPD事業の進展

2012年12月  
2013年1月  
2013年8月

欧州における腎疾患診断薬L-FABP発売開始  
尿素サイクル異常症用治療薬「ブフェニール®」発売開始  
急性ポルフィリン症治療薬「ノーモサング®」発売開始

# 損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	2012/9		2013/9		
	実績	構成比	実績	構成比	対前年 伸び率
売上高	50,303	100.0%	50,934	100.0%	1.3%
営業利益	3,918	7.8%	4,156	8.2%	6.1%
経常利益	3,835	7.6%	3,941	7.7%	2.8%
当期利益	2,241	4.5%	1,753	3.4%	△21.8%
1株当たり当期 純利益（円）	123.25		97.36		

# セグメント別売上高

(単位：百万円)

	2012/9		2013/9		増減額	対前年 伸び率
	金額	構成比	金額	構成比		
CRO事業	18,954	37.7%	21,466	42.1%	2,512	13.3%
CMO事業	17,230	34.3%	15,909	31.1%	△ 1,321	△ 7.7%
CSO事業	6,144	12.2%	5,199	10.2%	△ 945	△ 15.4%
ヘルスケア事業	8,526	16.9%	8,857	17.4%	331	3.9%
IPD事業	71	0.1%	283	0.6%	212	295.8%
内部取引消去	△ 623	△ 1.2%	△ 782	△ 1.5%	△ 159	-
合計	50,303	100.0%	50,934	100.0%	630	1.3%

# セグメント別営業利益

(単位：百万円)

	2012/9		2013/9		増減額	対前年 伸び率
	金額	営業利益率	金額	営業利益率		
CRO事業	3,545	18.7%	4,264	19.9%	718	20.3%
CMO事業	1,600	9.3%	1,293	8.1%	△ 306	△ 19.2%
CSO事業	301	4.9%	449	8.6%	147	48.8%
ヘルスケア事業	730	8.6%	643	7.3%	△ 87	△ 12.0%
IPD事業	△ 667	-	△ 785	-	△ 117	-
調整額	△ 1,592	-	△ 1,708	-	△ 116	-
合計	3,918	7.8%	4,156	8.2%	237	6.1%

# 受注高・受注残高

(単位：百万円)

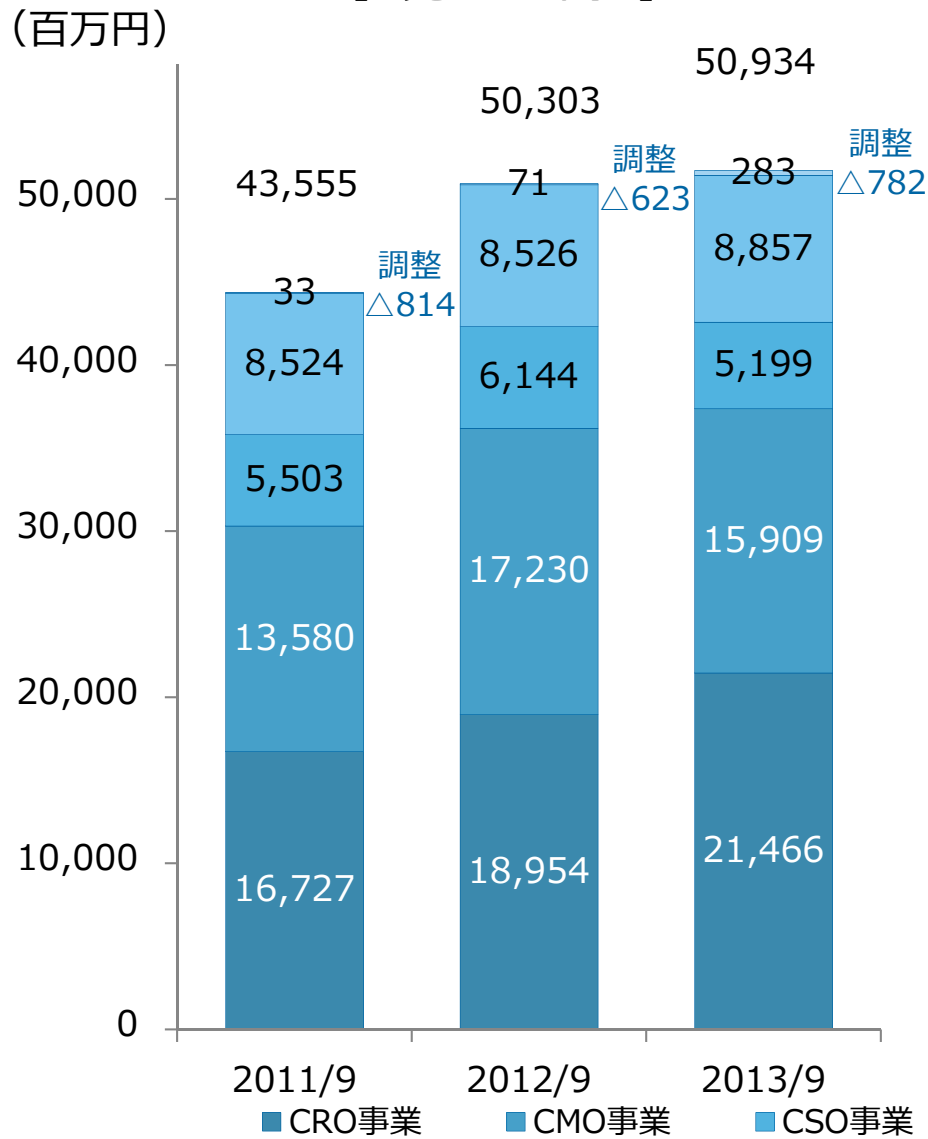
	2012/9		2013/9			
	受注高	受注残高	受注高	前年比	受注残高	前年比
CRO事業	24,994	28,954	26,588	106.4%	34,244	118.3%
CMO事業	17,427	3,179	15,534	89.1%	2,833	89.1%
CSO事業	6,483	4,002	4,105	63.3%	3,435	85.8%
ヘルスケア事業	10,099	13,034	7,845	77.7%	12,058	92.5%
IPD事業	71	-	260	363.1%	-	-
合計	59,077	49,171	54,334	92.0%	52,572	106.9%

- CMO事業の受注残高は確定注文を受けているもののみ計上  
顧客からは年間ベースの発注計画等の提示を受けているが、確定注文とは異なるので、  
受注残高には含めていない

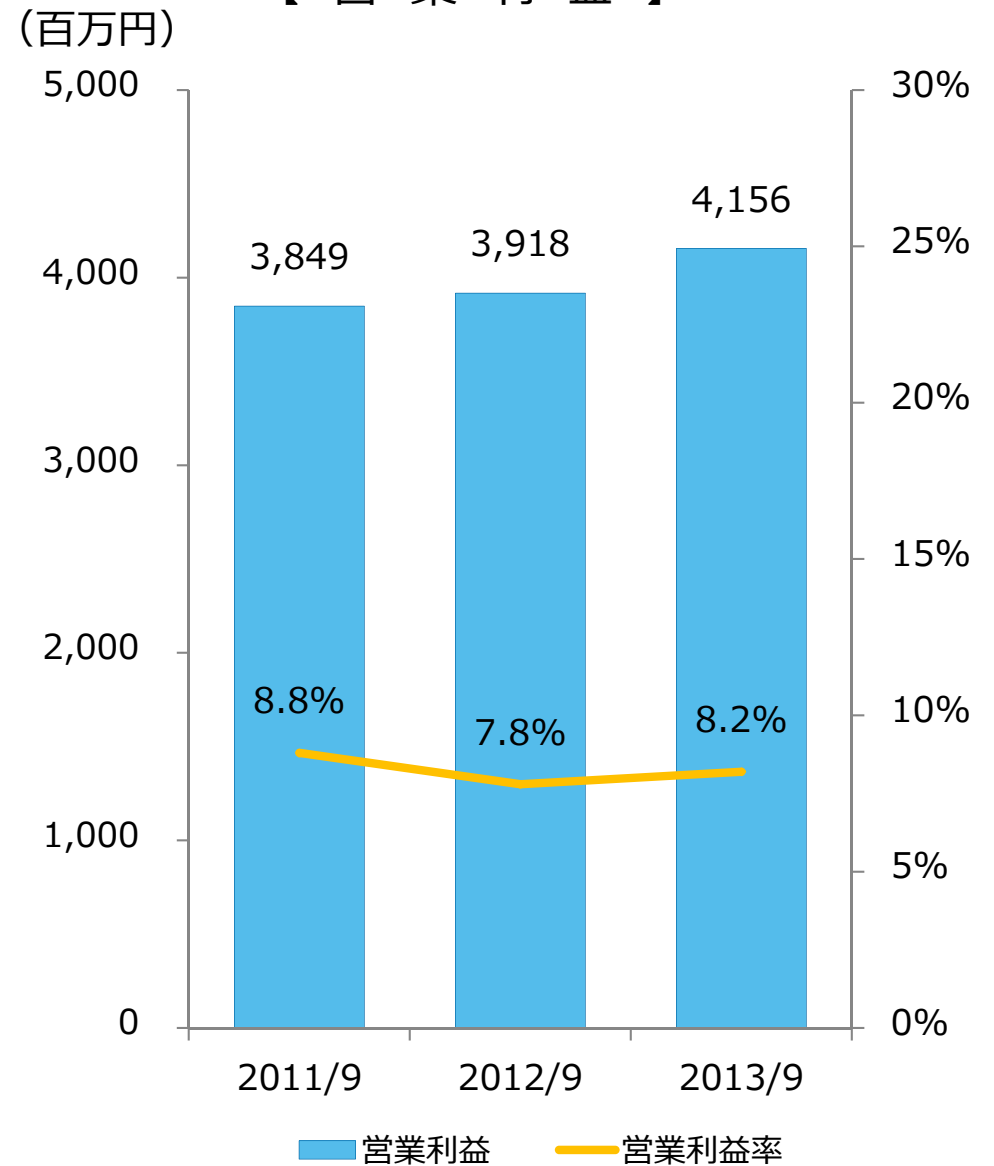


# 連結

## 【売上高】

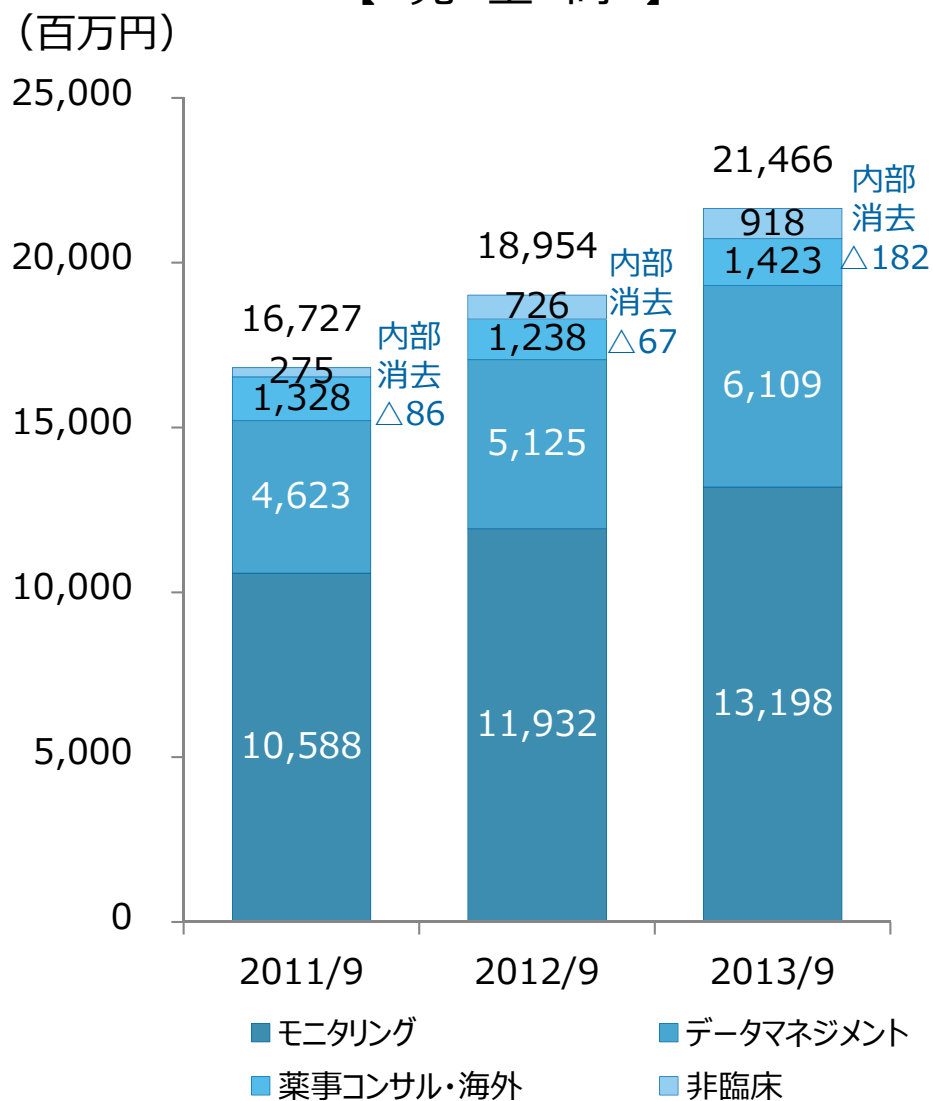


## 【営業利益】

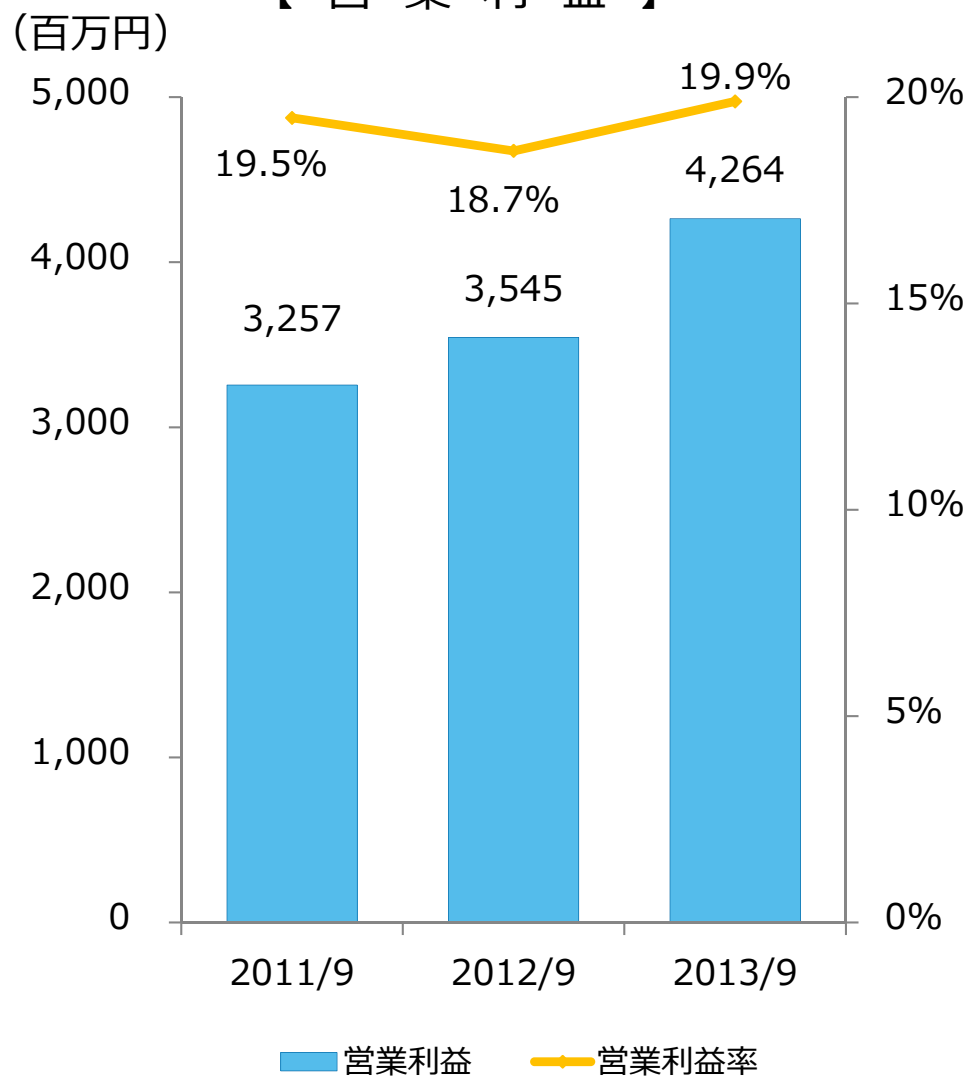


# CRO事業

## 【売上高】



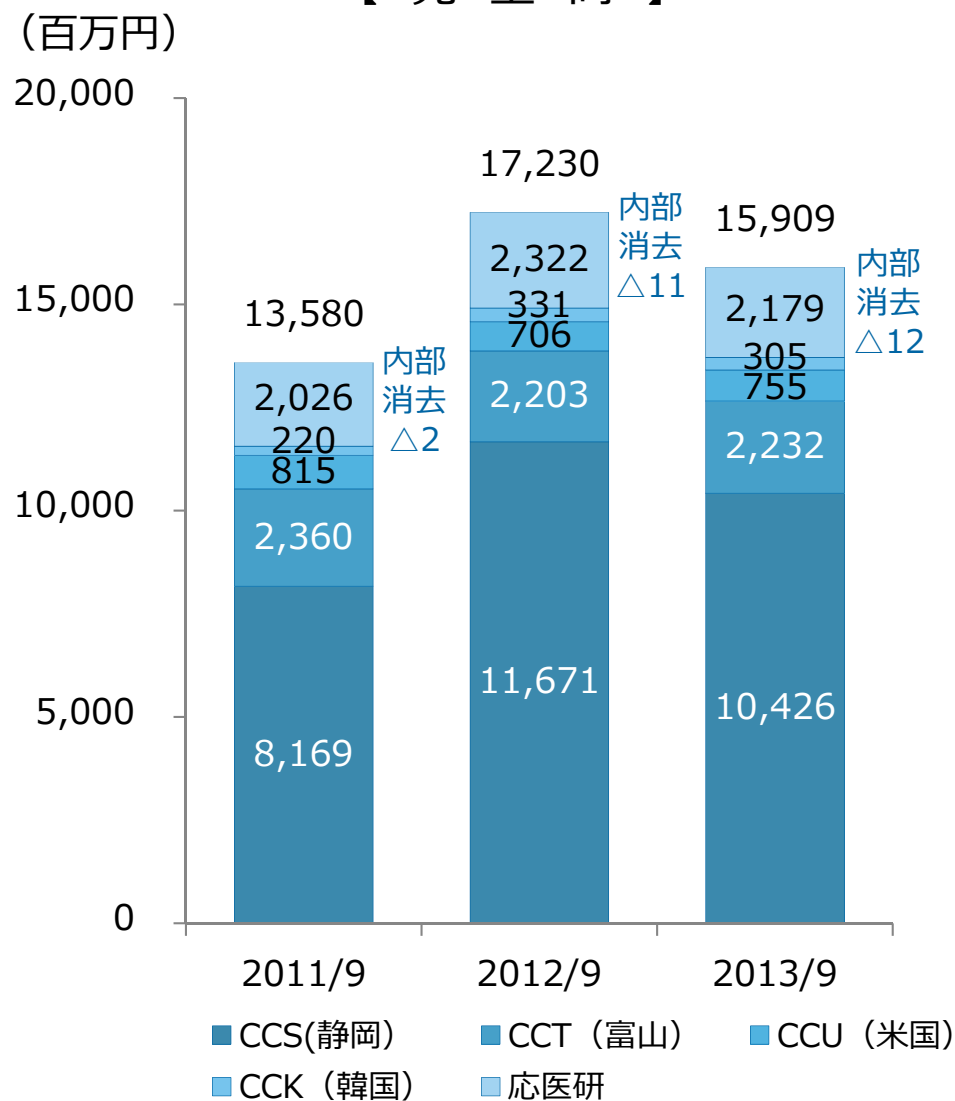
## 【営業利益】



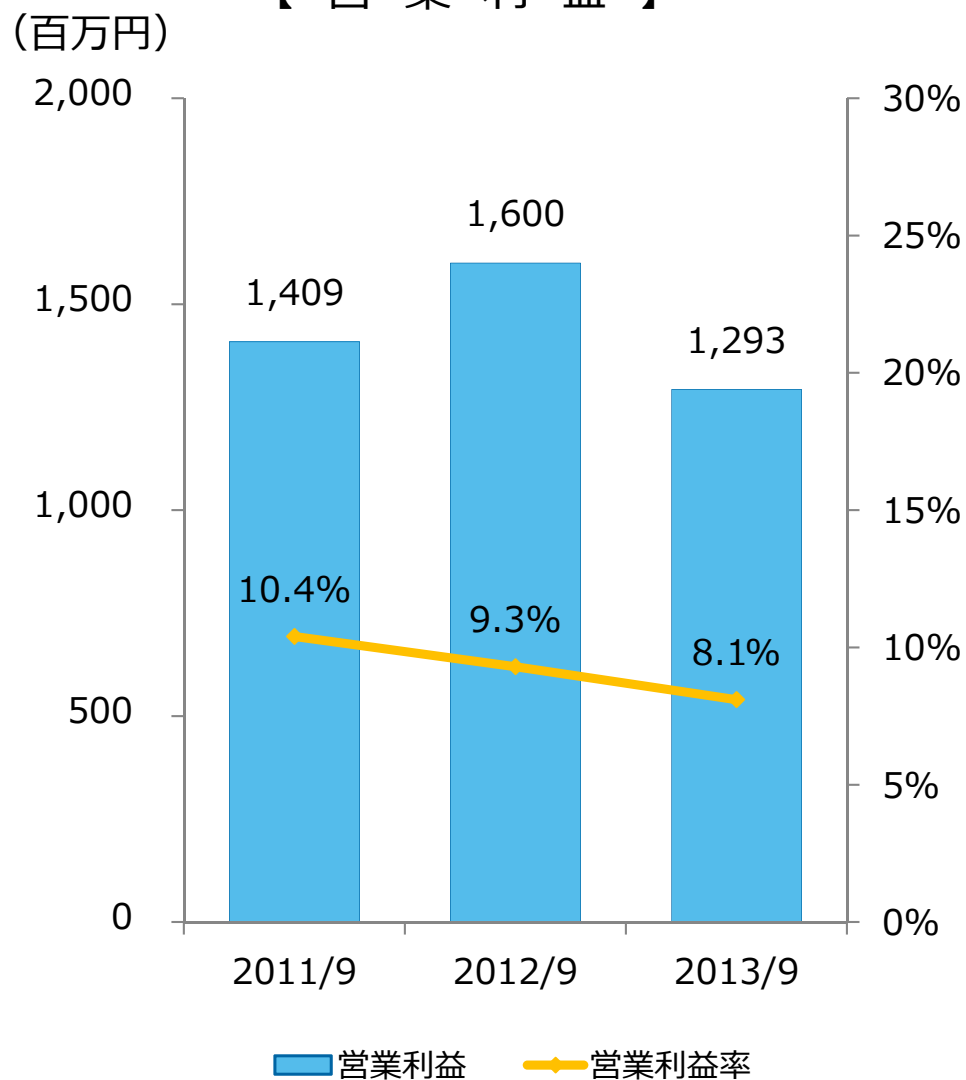
モニタリング業務において新規受注及び既存案件が順調に進捗し、データマネジメント業務においてシミックPMSが加わったことにより売上高は増加。モニタリングを中心に全般的に業務が順調に進捗、非臨床の採算が改善し営業利益も前年を上回る

# CMO事業

## 【売上高】



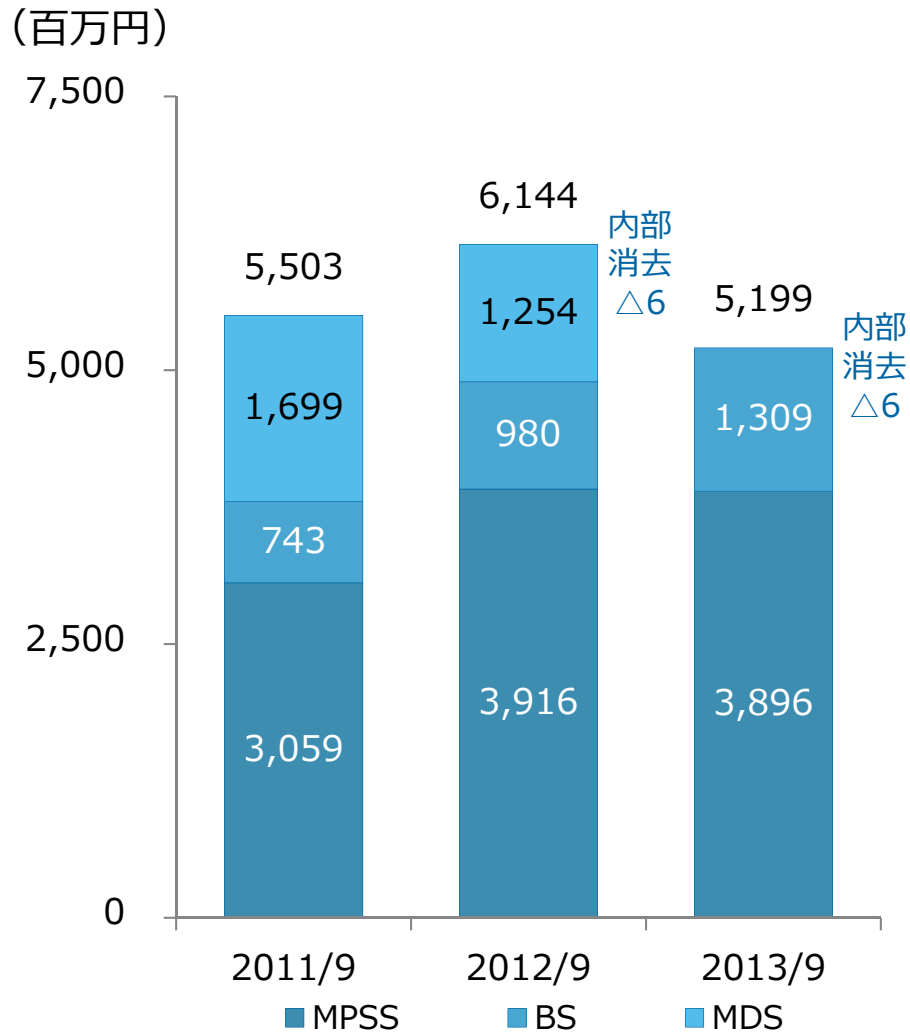
## 【営業利益】



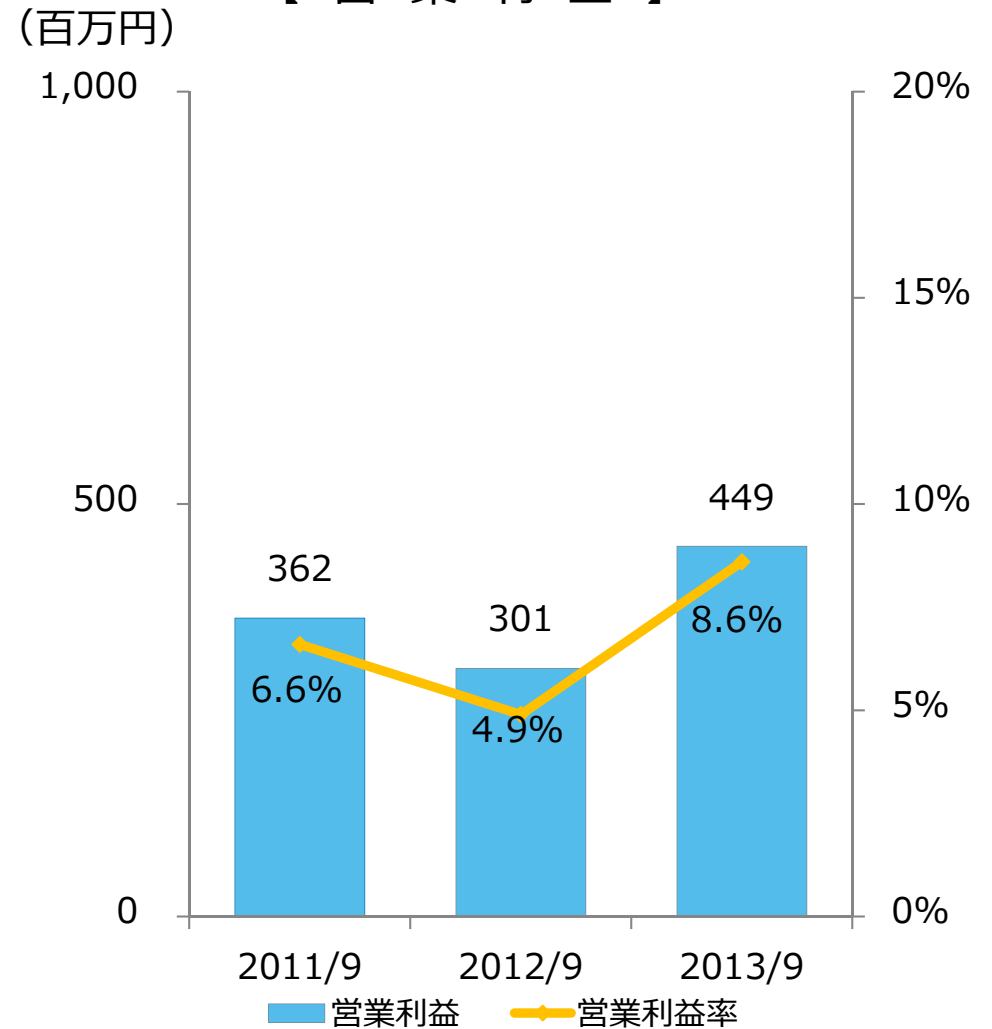
シミックCMO(株)で、新規案件の受託生産があったものの、既存品目の受託生産量が減少したことにより、売上高が前年を下回る。製造費用の圧縮等によるコスト削減に努めたものの、営業利益も前年を下回る

# CSO事業

## 【売上高】



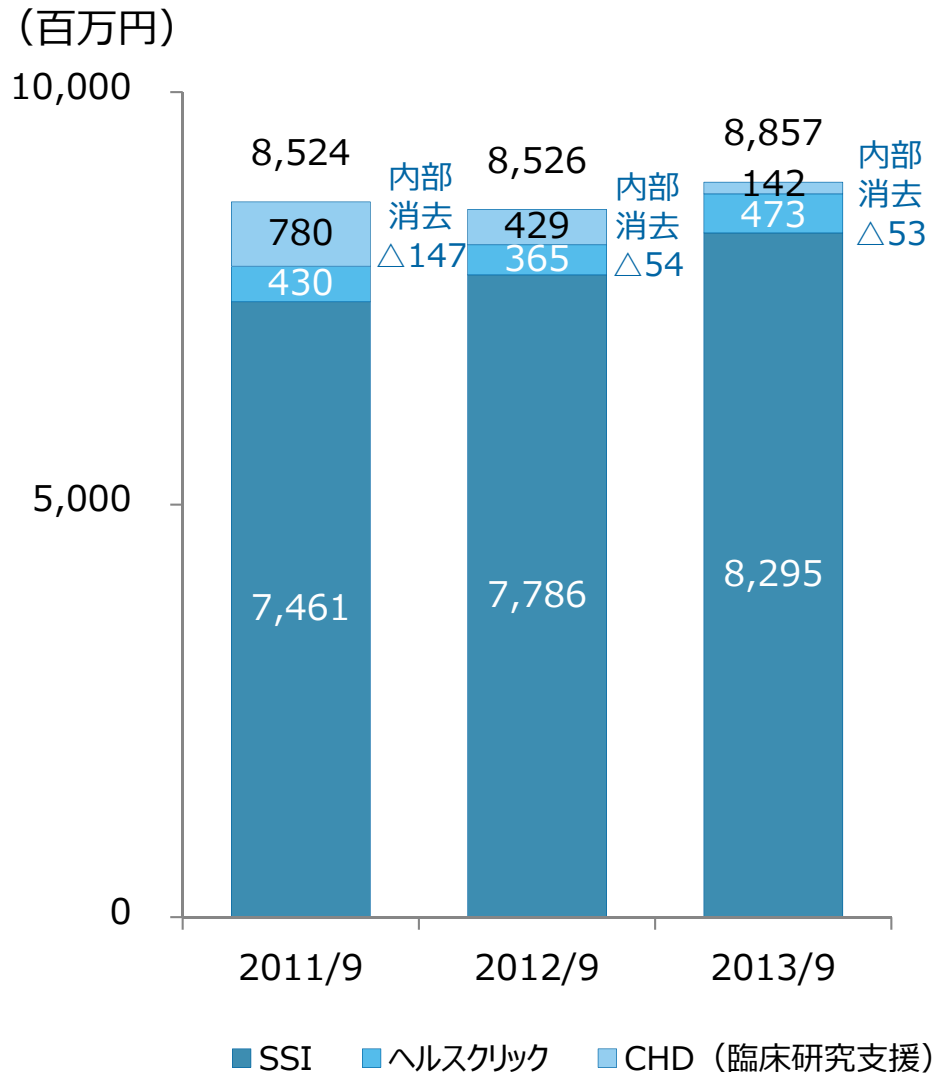
## 【営業利益】



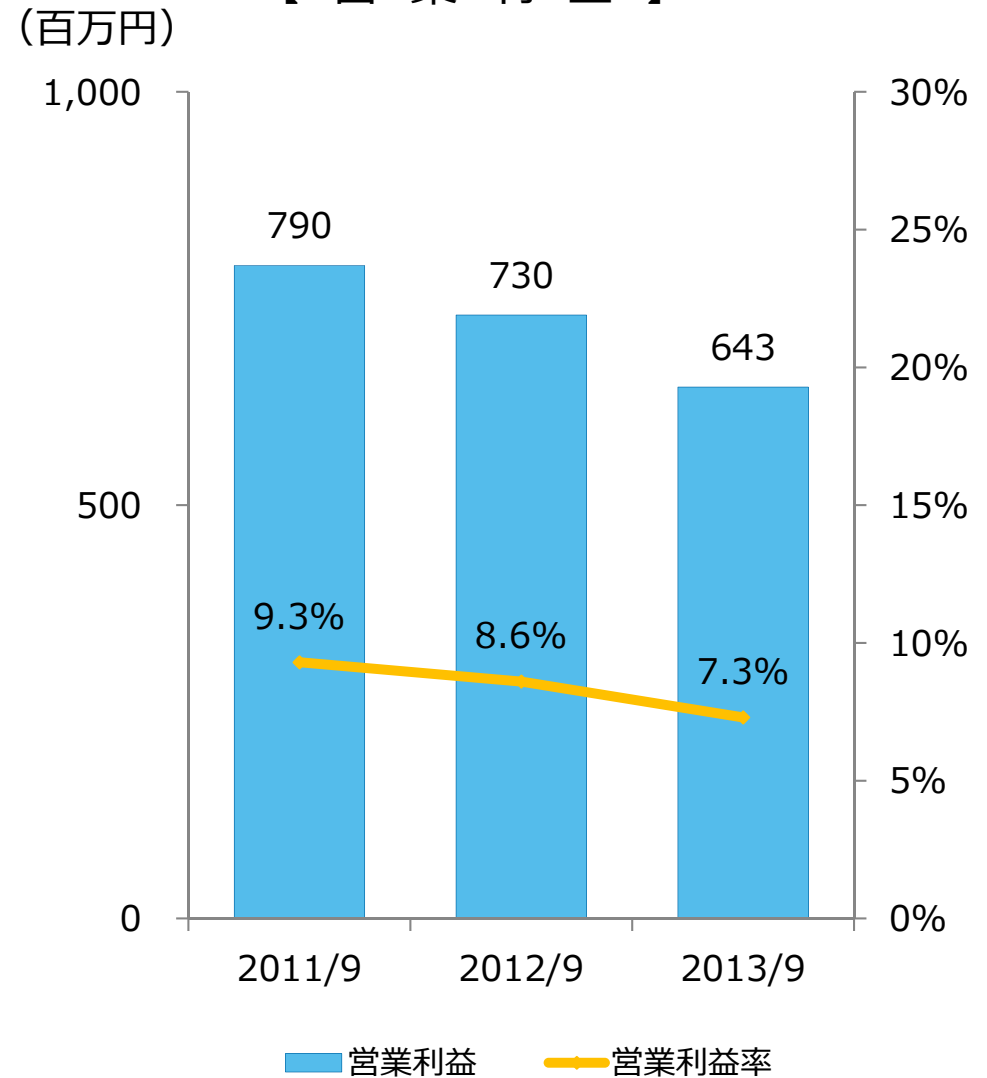
(株)シミックBSの業務量増加等により売上高は増加したが、前年第4四半期より連結対象会社であったMDS（現MDS-CMG）が持分法適用会社となったため、事業全体の売上高は前年を下回る。MR派遣業務の採算改善と人材業務等が好調で、営業利益は前年を上回る

# ヘルスケア事業

【売上高】



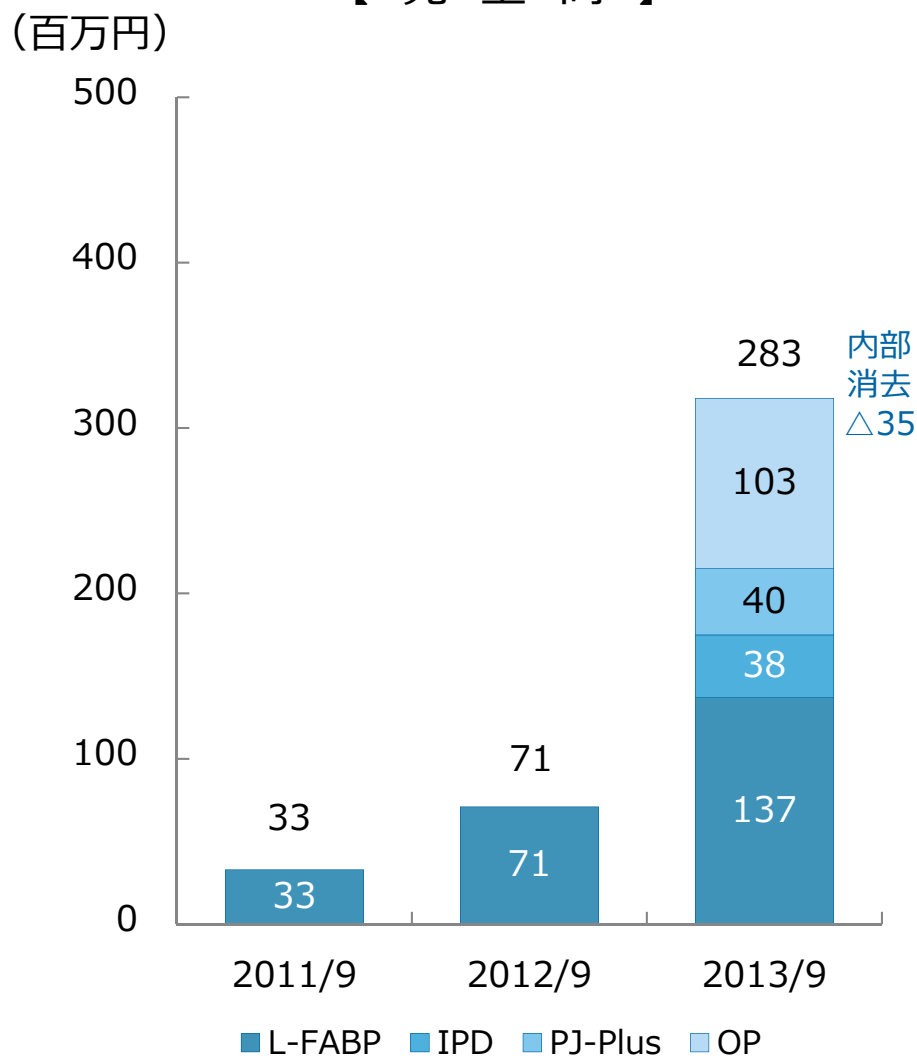
【営業利益】



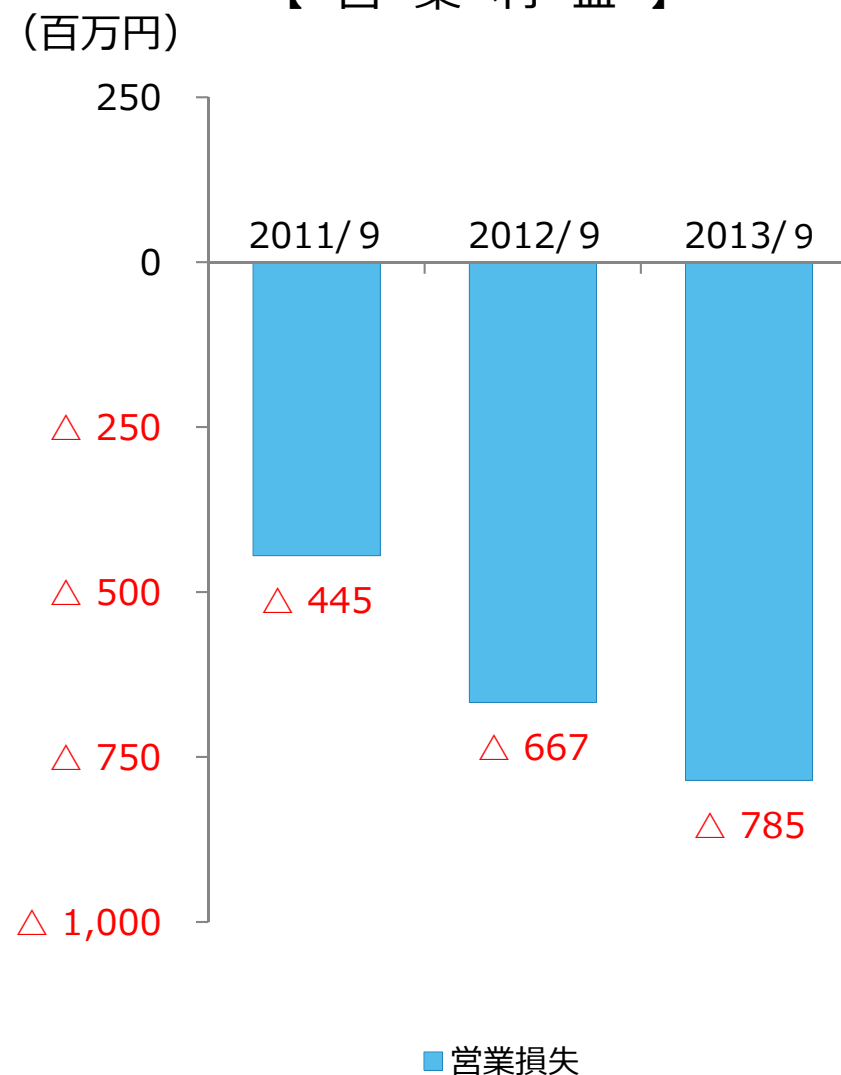
SMO業務の既存プロジェクトの進捗及びヘルスケア情報サービスの新規案件獲得により売上高が前年を上回る。SMO業務において難易度の高い試験の増加等に伴い原価率が上昇したことにより、営業利益は前年を下回る

# IPD事業

## 【売上高】



## 【営業利益】

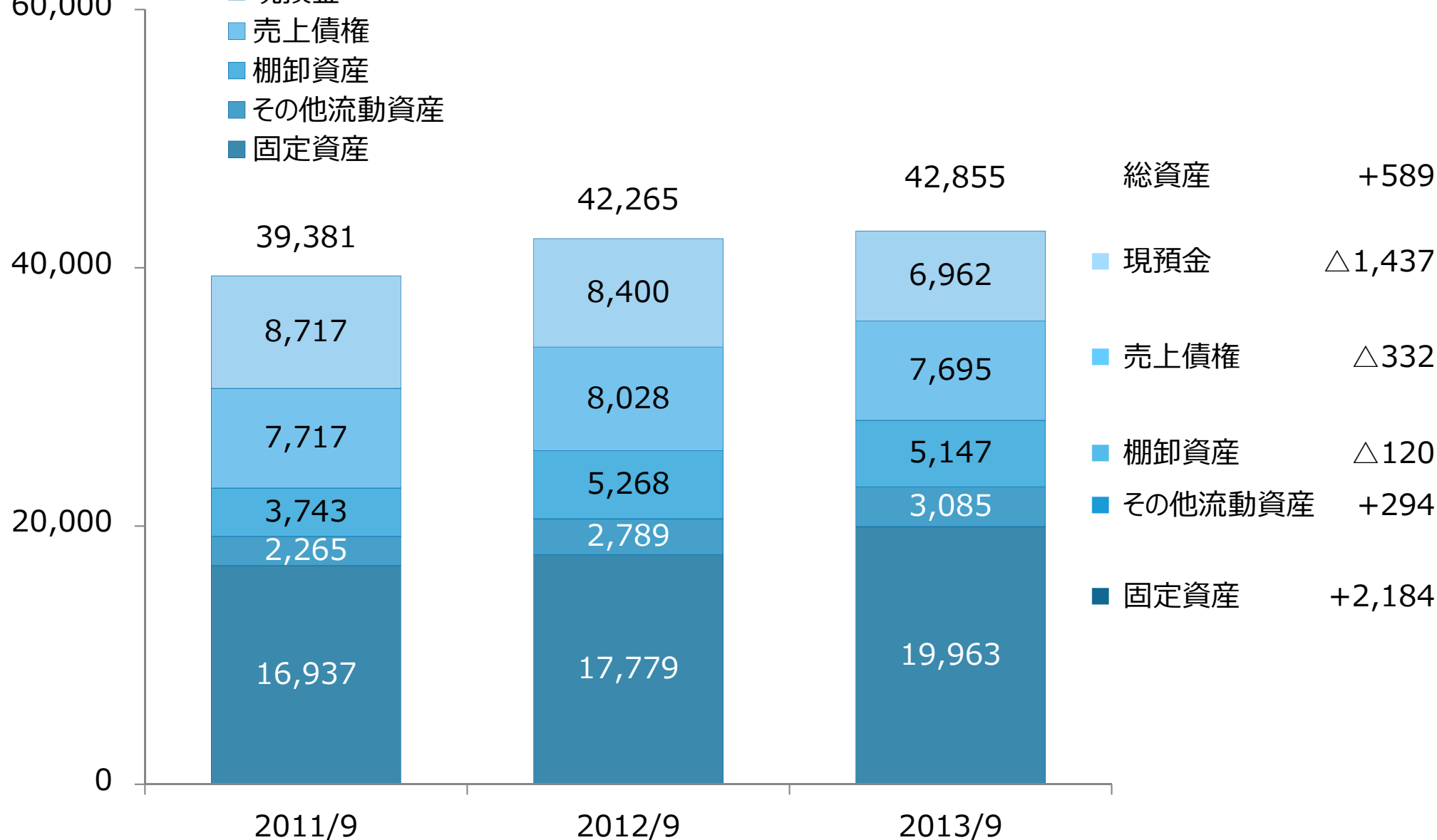


自社開発の体外診断用医薬品が欧州販売を開始  
希少疾病用医薬品「ブフェニール®」及び「ノーモサング®」販売開始  
研究開発費および希少疾病用医薬品の販売立ち上げ費用等計上で営業損失が発生

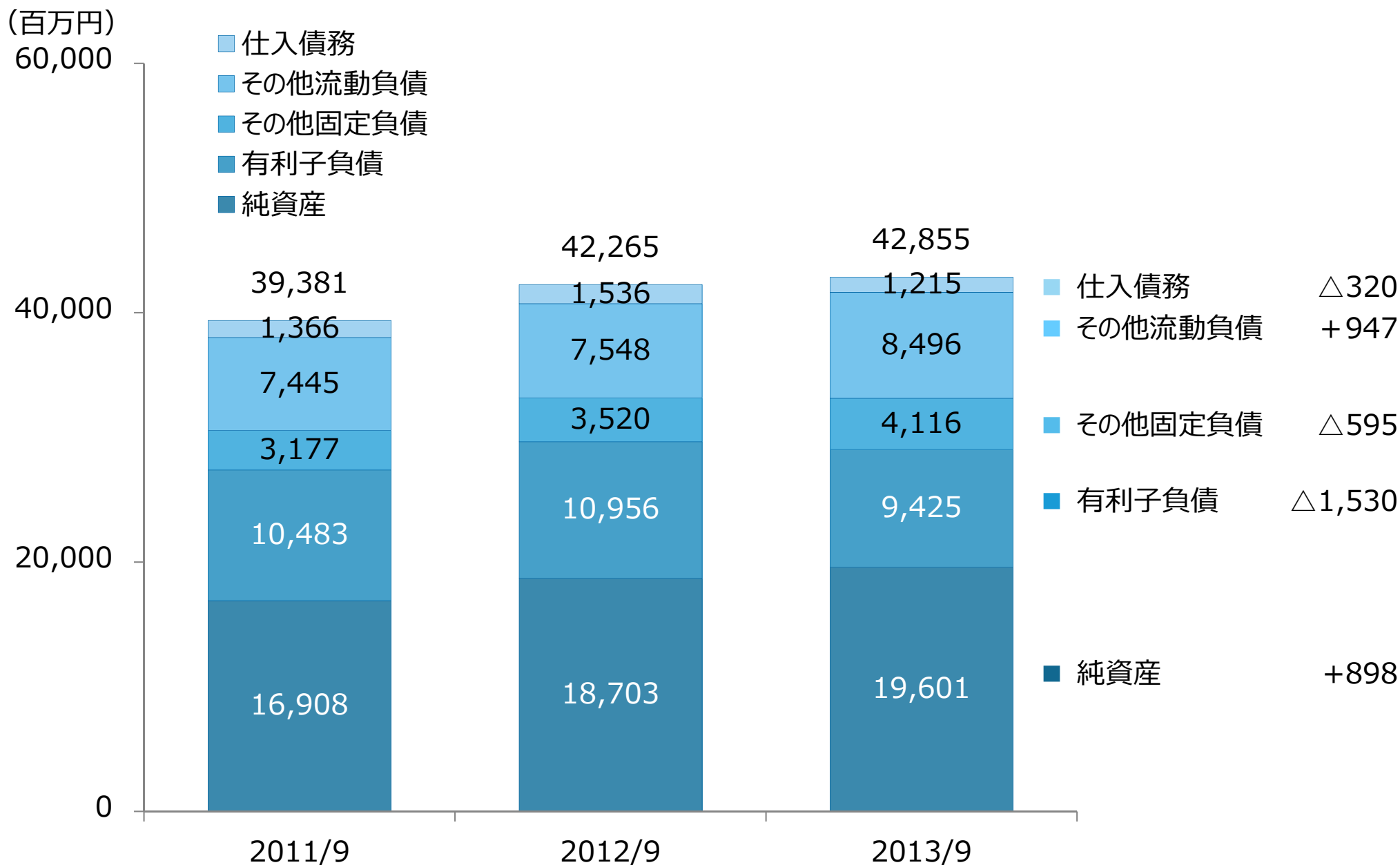
# 貸借対照表（資産の部）

(百万円)  
60,000

- 現預金
- 売上債権
- 棚卸資産
- その他流動資産
- 固定資産



# 貸借対照表（負債の部・純資産の部）





# キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

	2012/9	2013/9	増 減
営業活動によるCF	2,817	5,201	2,384
投資活動によるCF	△2,474	△4,059	△1,585
財務活動によるCF	△239	△2,587	△2,348
現金及び現金同等物の 換算差額	13	111	97
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	117	△1,334	△1,451
現金及び現金同等物の 期首残高	8,027	8,144	117
現金及び現金同等物の 期末残高	8,144	6,810	△1,334

## 【主な内訳】

(営業活動によるCF)

- ・税金等調整前当期純利益および減価償却等による収入
- ・法人税等の支払による支出

(投資活動によるCF)

- ・有形固定資産の取得  
(CMO富山新製造棟・応用医学研究所新研究棟等)
- ・事業譲受による支出

(財務活動によるCF)

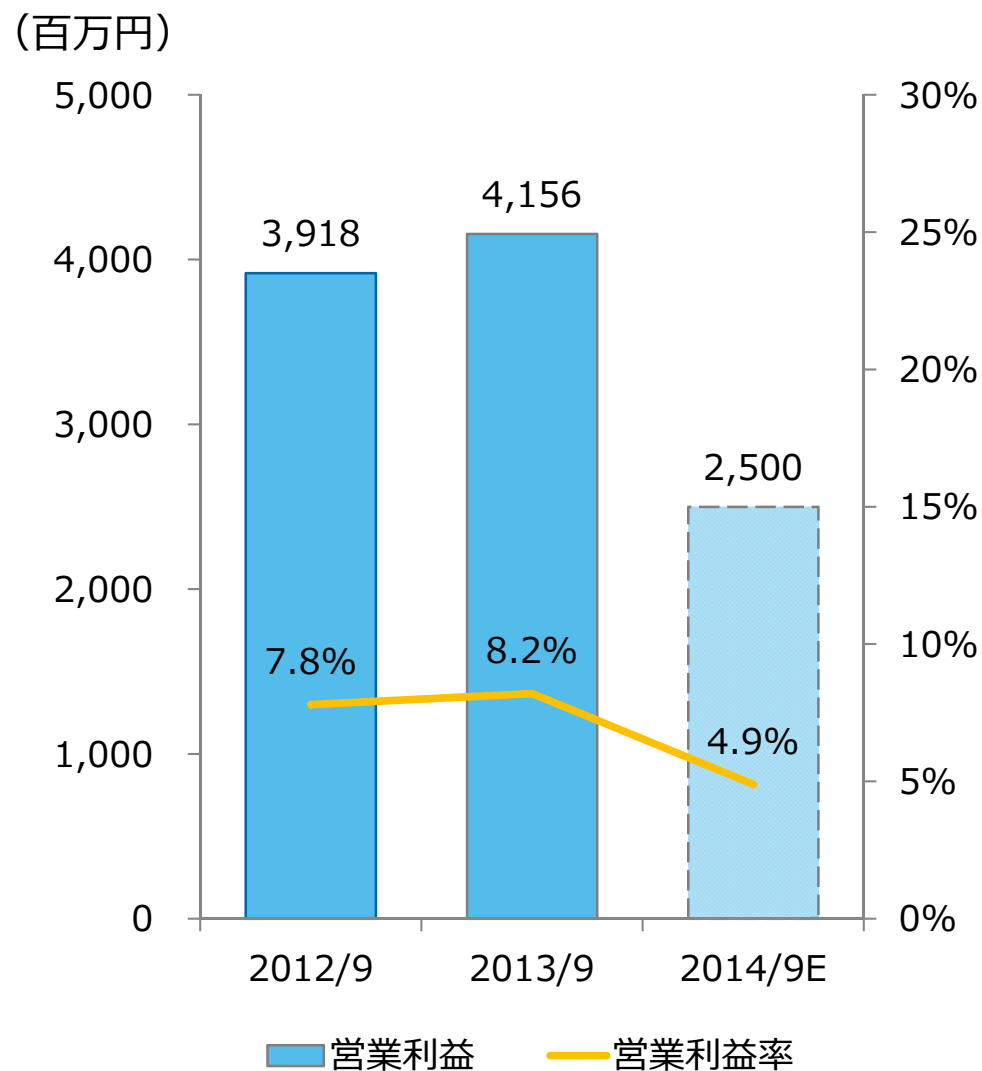
- ・借入の返済等による支出
- ・配当金の支払

# 2014年9月期 業績見通し

# 2014年9月期見通し

(単位：百万円) (百万円)

	2013/9期	2014/9期	
	実績	見通し	前期比
売上高	50,934	51,500	+1.1%
営業利益	4,156	2,500	△39.8%
経常利益	3,941	2,300	△41.6%
当期純利益	1,753	800	△54.4%



# 2014年9月期見通し（セグメント別売上高）

（単位：百万円）

	2013/9期	2014/9期	
	実績	計画	前期比
CRO事業	21,466	23,500	+9.5 %
CMO事業	15,909	14,700	△7.6 %
CSO事業	5,199	6,500	+25.0 %
ヘルスケア事業	8,857	7,300	△17.6 %
IPD事業	283	500	+76.2 %
内部取引消去	△782	△1,000	—
合計	50,934	51,500	+1.1 %

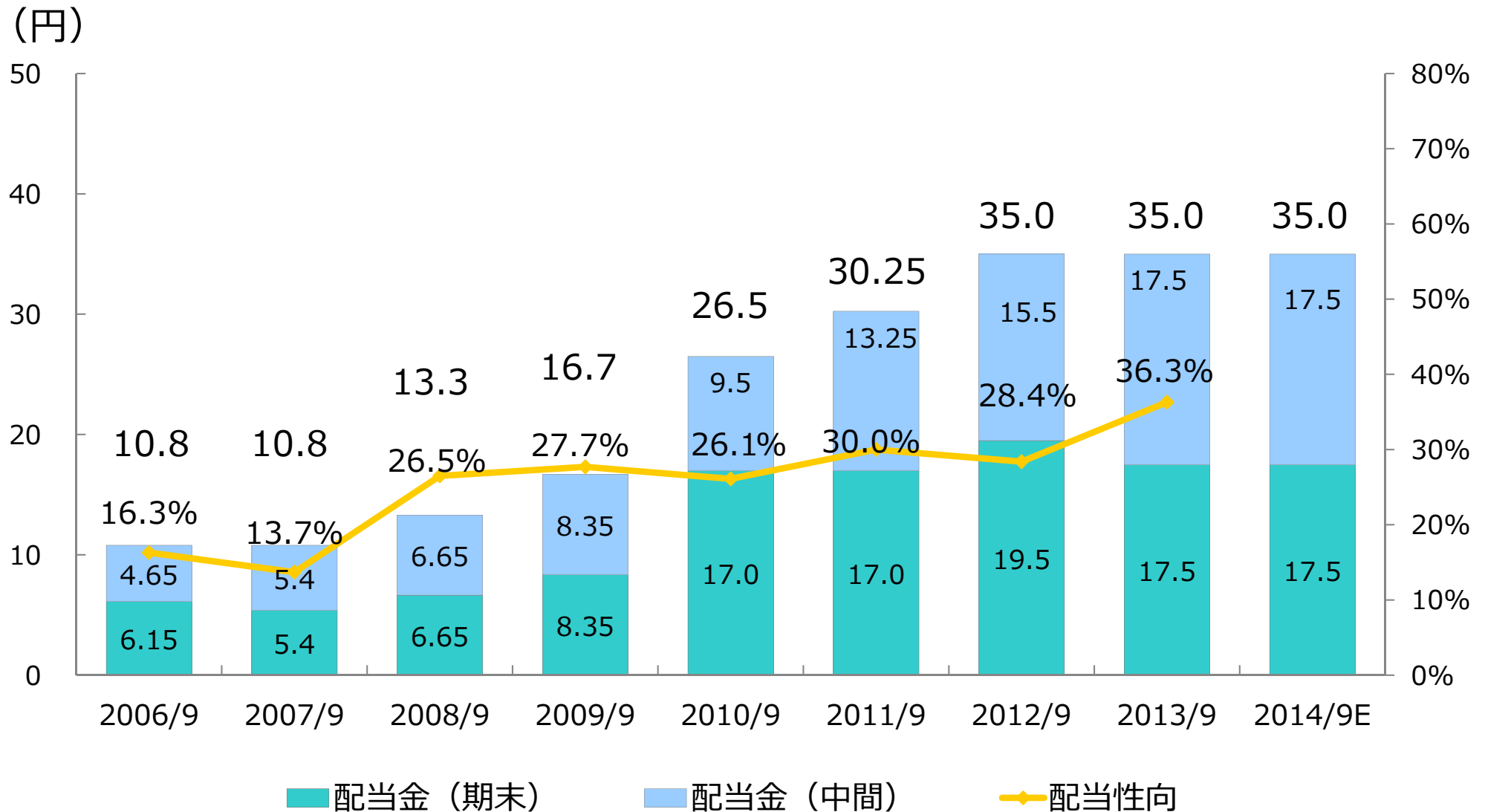
# 2014年9月期見通し（セグメント別営業利益）

（単位：百万円）

	2013/9期	2014/9期	
	実績	計画	前期比
CRO事業	4,264	4,390	+3.0 %
CMO事業	1,293	450	△65.2 %
CSO事業	449	620	+38.1 %
ヘルスケア事業	643	△210	—
IPD事業	△785	△660	—
調整額	△1,708	△2,090	—
合計	4,156	2,500	△39.8 %

売上増加に伴いCRO、CSO事業は増益見通し。  
CMO事業は足利工場の業績が加わる予定だが、シミックCMO(株)の既存案件で受託生産量の大幅減少により減益見通し。ヘルスケア事業で直近の受注減少に伴い減益見通し

# 2014年9月期見通し（1株当たり配当金）



※2011年4月1日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割しております。

上記のグラフでは当該株式分割に伴う影響を加味し遡及修正を行った場合の配当状況を記載しております。

# シミックグループの 事業戦略

代表取締役会長兼社長 CEO

中村 和男

# 独自のビジネスモデル：PVC

## CSO事業

(Contract Sales Organization)

医薬品マーケティング・営業を  
支援する事業

## ヘルスケア事業

(Healthcare)

医療機関、患者、一般消費者を  
対象とした事業

## Pharmaceutical Value Creator

個々の事業で得たノウハウや知識を活用し  
製薬企業のストラテジックパートナーへ

## CMO事業

(Contract Manufacturing Organization)

医薬品製造を支援する事業

## IPD事業

(Intellectual Property Development)

自社で知的財産を開発する事業

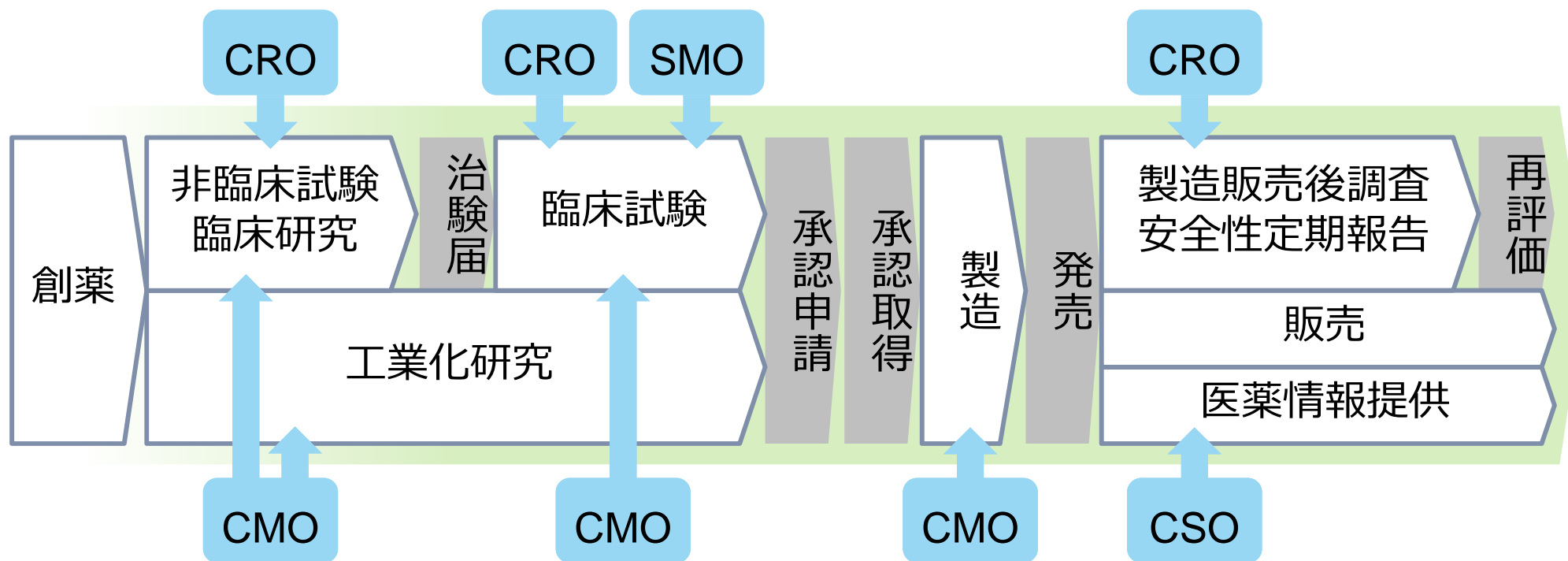
## CRO事業

(Contract Research Organization)

医薬品開発を支援する事業



# シミックグループの事業領域



IPD

自社で知的財産を開発する事業

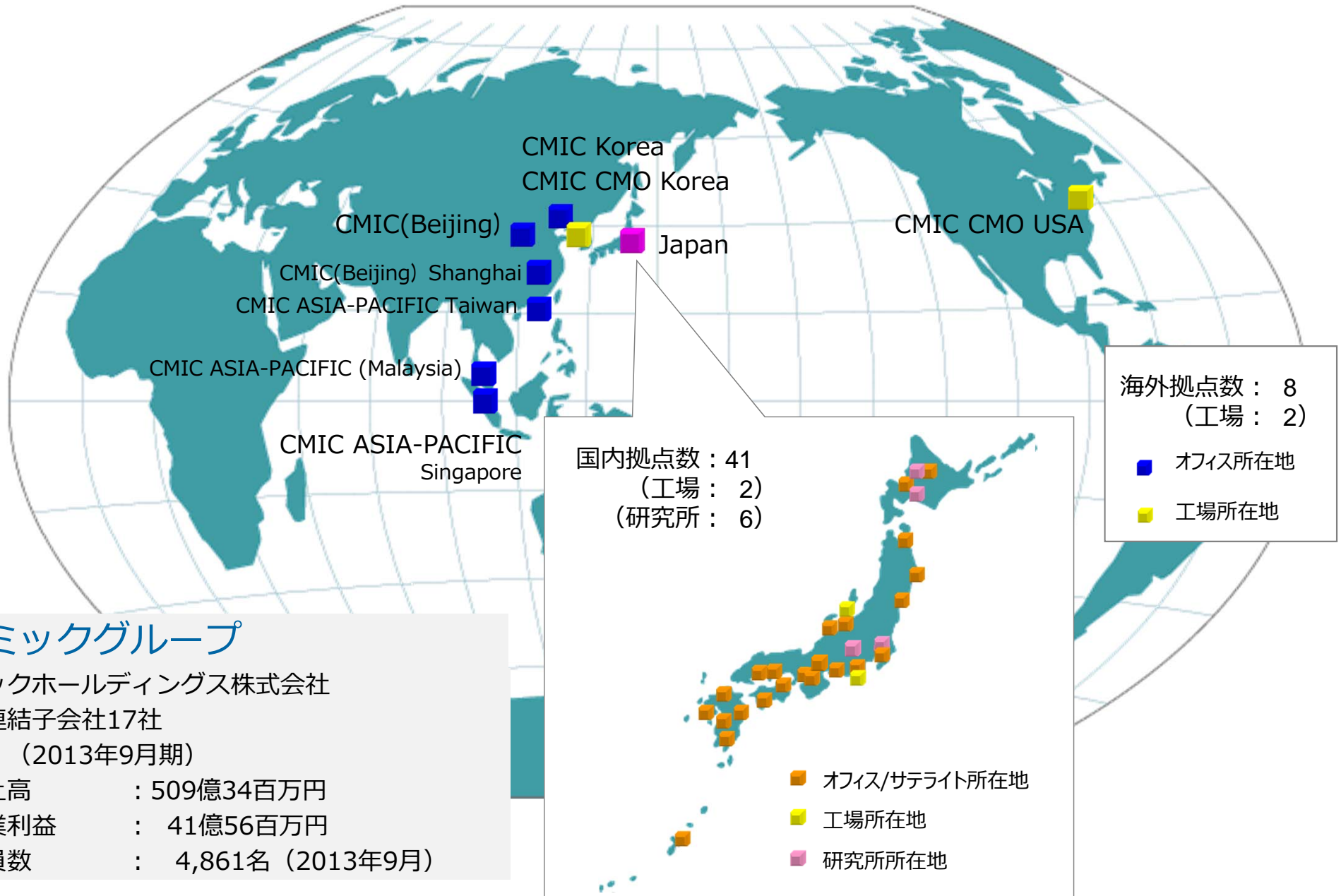
診断薬「レナプロ®L-FABPテスト」、希少疾病用医薬品の開発製造販売

HC

個人のヘルスバリューを高める事業

健康情報サービス、コールセンター業務

# シミックグループの拠点



## シミックグループ

シミックホールディングス株式会社  
及び連結子会社17社

業績 (2013年9月期)

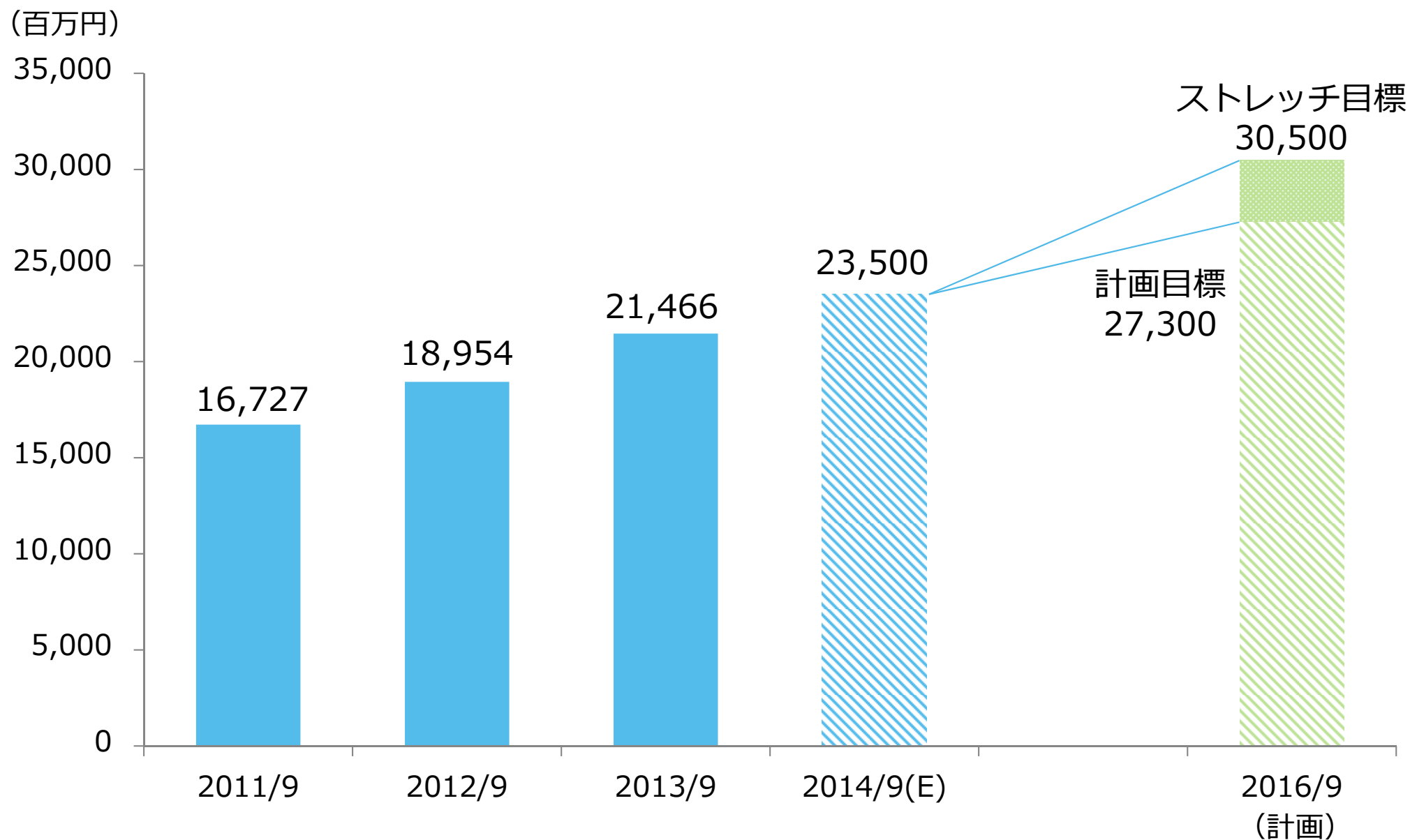
売上高 : 509億34百万円  
営業利益 : 41億56百万円  
従業員数 : 4,861名 (2013年9月)

# 独自のビジネスモデル：PVC

Pharmaceutical Value Creator



# CRO事業の売上高推移



# 海外案件の増加（FY2013）

## ◆ 海外案件の受注高 前年同期の約2.8倍

### ➤ 国際案件の主な内容

- モニタリング
- 日本での開発のコンサルティング
- 臨床試験の薬事サポート
- CTD作成
- DMF登録

## ◆ 海外からの引き合い件数 前年同期の約3倍

# アジアのカバーエリア



# 独自のビジネスモデル：PVC

Pharmaceutical Value Creator



# CMO事業の製造拠点



## CMIC CMO USA Corporation

【製造可能剤形】

錠剤  
顆粒剤  
カプセル剤



## シミックCMO(株)【静岡】

【製造可能剤形】

錠剤  
硬カプセル剤  
散剤  
細・顆粒剤  
注射剤



## シミックCMO(株)【富山】

【製造可能剤形】

軟膏・クリーム剤  
ゲル剤  
ローション剤  
歯磨剤  
液剤  
リニメント剤  
坐剤  
カプセル剤（包装）  
錠剤（包装）



## CMIC CMO Korea Co., Ltd.

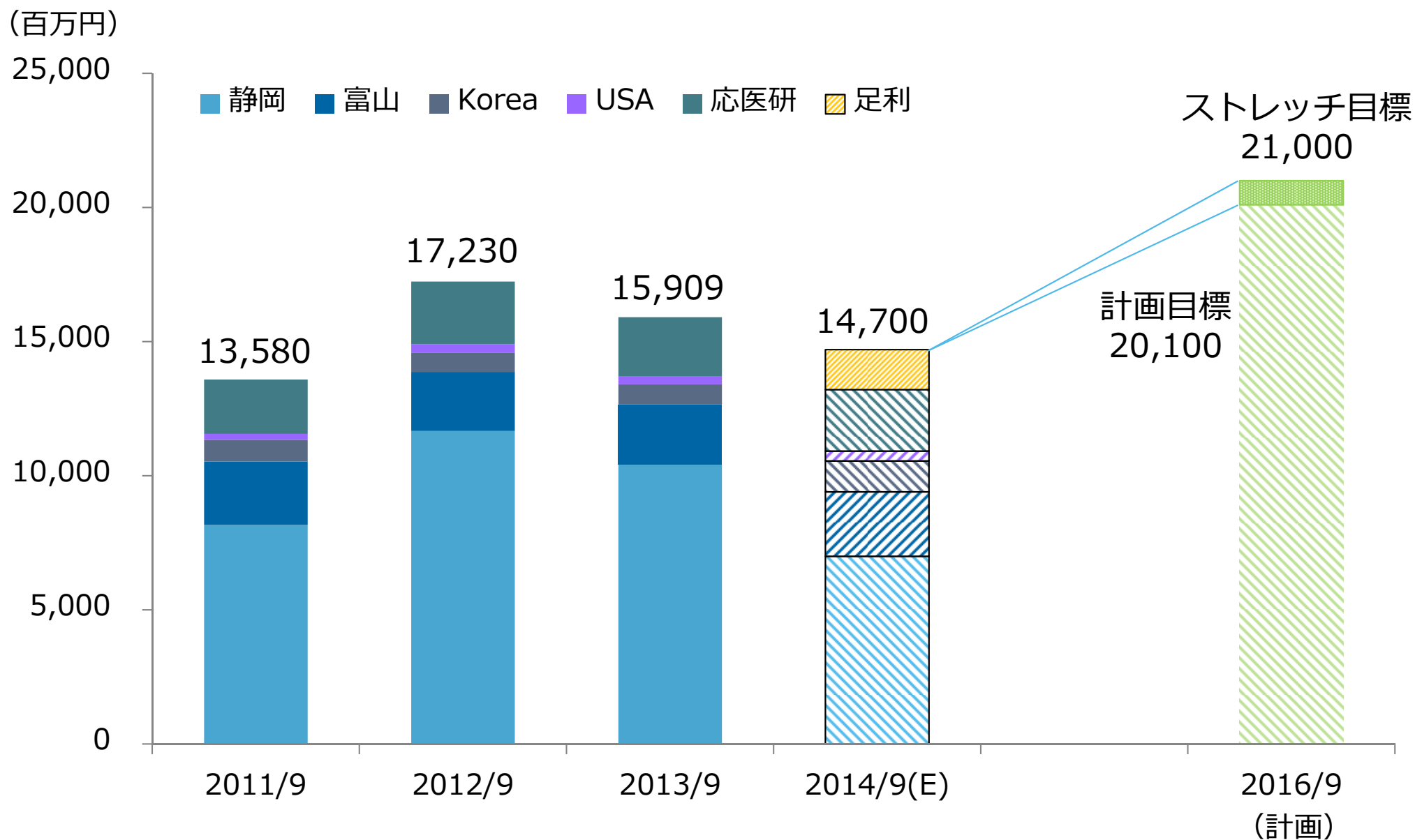
【製造可能剤形】

軟膏・クリーム剤  
ゲル剤  
内用液剤



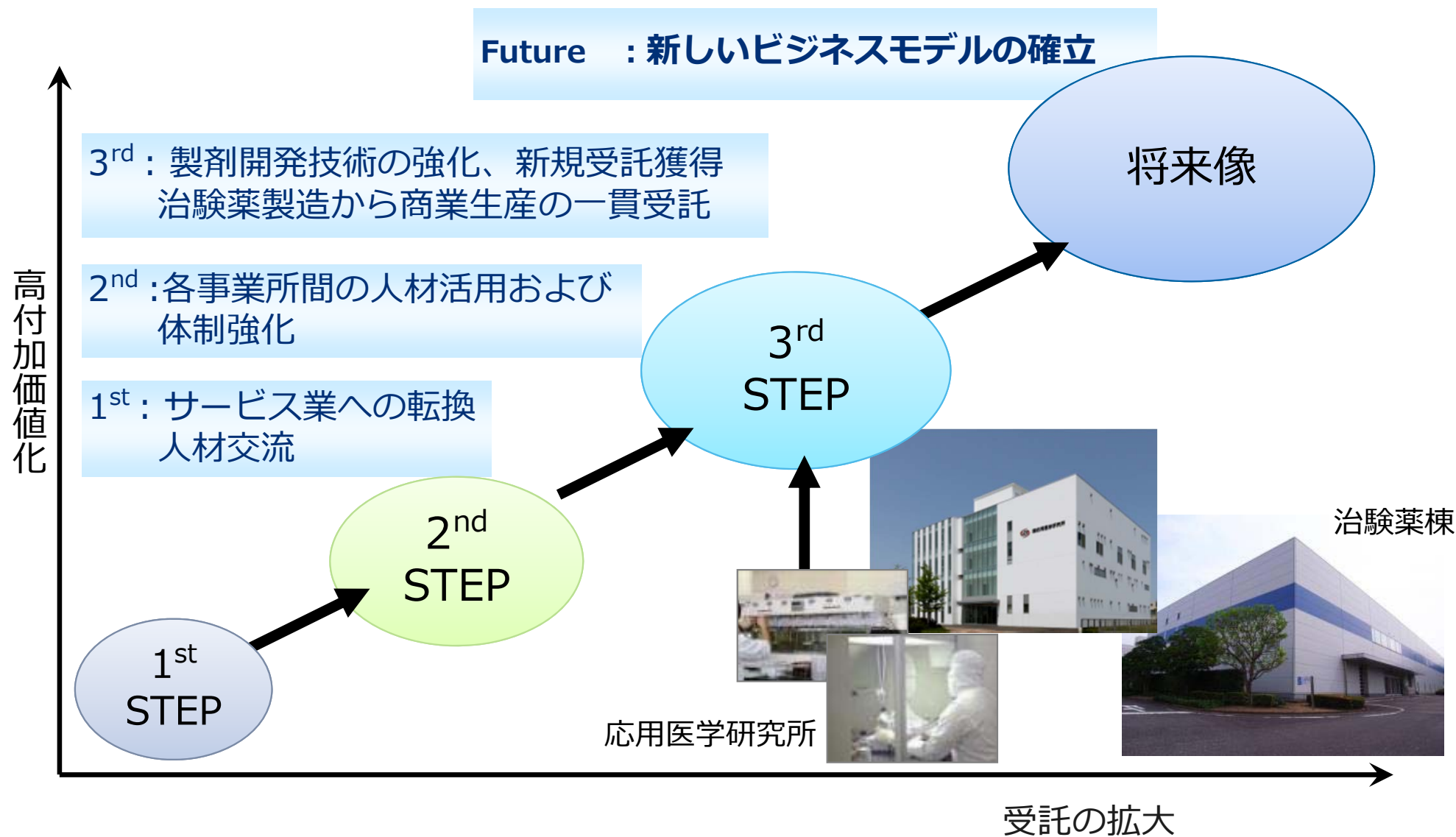


# CMO事業の売上高推移



# CMO事業の成長戦略

技術力の強化を進め、付加価値の高い提案型事業へ



# CMO事業の現状

		1st Step	2nd Step	3rd Step		
		サービス業への転換、人材交流	各事業所間の人材活用、体制強化	製剤開発技術の強化	新規受託獲得	治験薬製造から商業生産の一貫受託
CMO	静岡工場	○	△	△	△	△
	富山工場	○	△	△	○	—
CMO Korea		○	○	○	○	—
CMO USA		○	○	○	△	△

# 生産・開発力強化への取り組み

- ◆ 北海道石狩市への  
新研究棟建設（応用医学研究所）
  - 研究機能の集約
  - 試験処理能力の向上



応用医学研究所  
新研究棟  
(2013/10稼動)

- ◆ 「製剤開発センターの設置」 (CMO静岡工場)
  - 処方設計、治験薬製造、商業生産までをカバー
  - 製剤化検討を行い自社開発や共同開発を実施

\* 2013/10より



CMO静岡工場  
(治験薬棟)

- ◆ 新規受託に対応する  
新製造棟建設 (CMO富山工場)
  - 生産能力は従来の2倍
  - 高アルコール製剤に対応



CMO富山工場  
新製造棟  
(2014/01稼動予定)

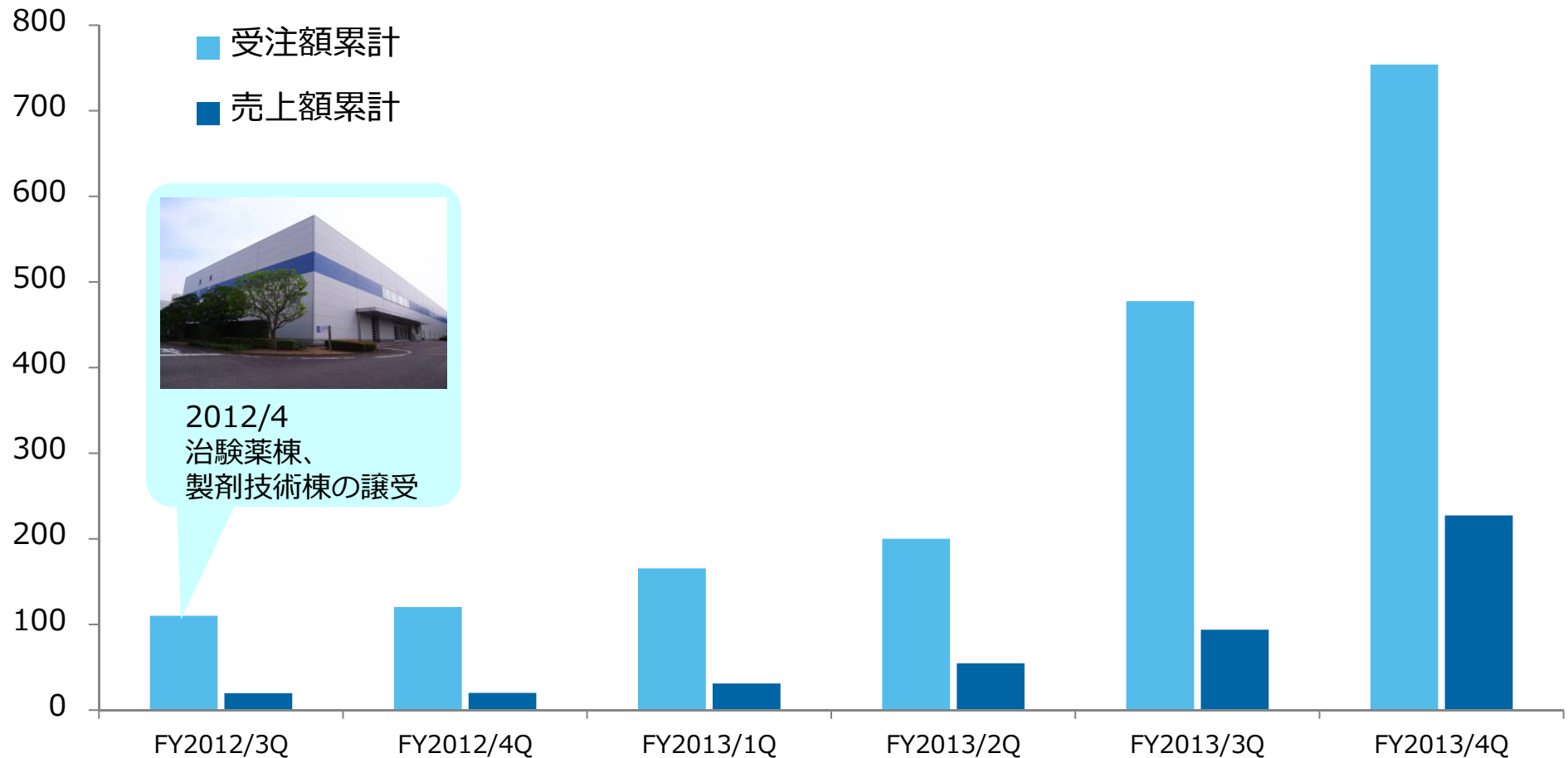


# 新規受託案件（治験薬：CMO静岡）

## 治験薬専用設備稼動に伴う受注増

- 商業生産と分離した小ロット対応施設
- 処方設計に対応する人材

(百万円)



# 海外CMOとの連携

## ◆ Aesica Pharmaceuticals Limitedとの連携 CMOの営業活動・顧客紹介（日米欧）



SOURCE <http://www.aesica-pharma.co.uk/>

本社：イギリス  
(ニューカッスル・アポン・タイン)

従業員数：約1,300人

開発製造拠点：  
イギリス、ドイツ、イタリア  
計6拠点

主要事業：  
API（原薬）開発製造  
製剤開発、医薬品商用生産

# 製造拠点の強化

## ◆ 田辺三菱製薬工場(株)足利工場の譲受 (2014年4月予定)

2013年 8月1日 基本合意書締結  
2013年 11月 株式譲渡契約書締結 (予定)  
2014年 4月1日 株式譲受、営業開始 (予定)

### 設備概要

- (1) 所在地 栃木県足利市久保田町588-3
- (2) 面積 91,674m<sup>2</sup>
- (3) 操業開始 1971年
- (4) 従業員数 279名 (2013年3月31日現在)
- (5) 生産実績 錠剤 (約20億錠)  
散・顆粒剤 (約30トン)  
注射剤 (約280万本)



SOURCE <http://www.mtpharma-f.co.jp/factory/01.html>

# 独自のビジネスモデル：PVC

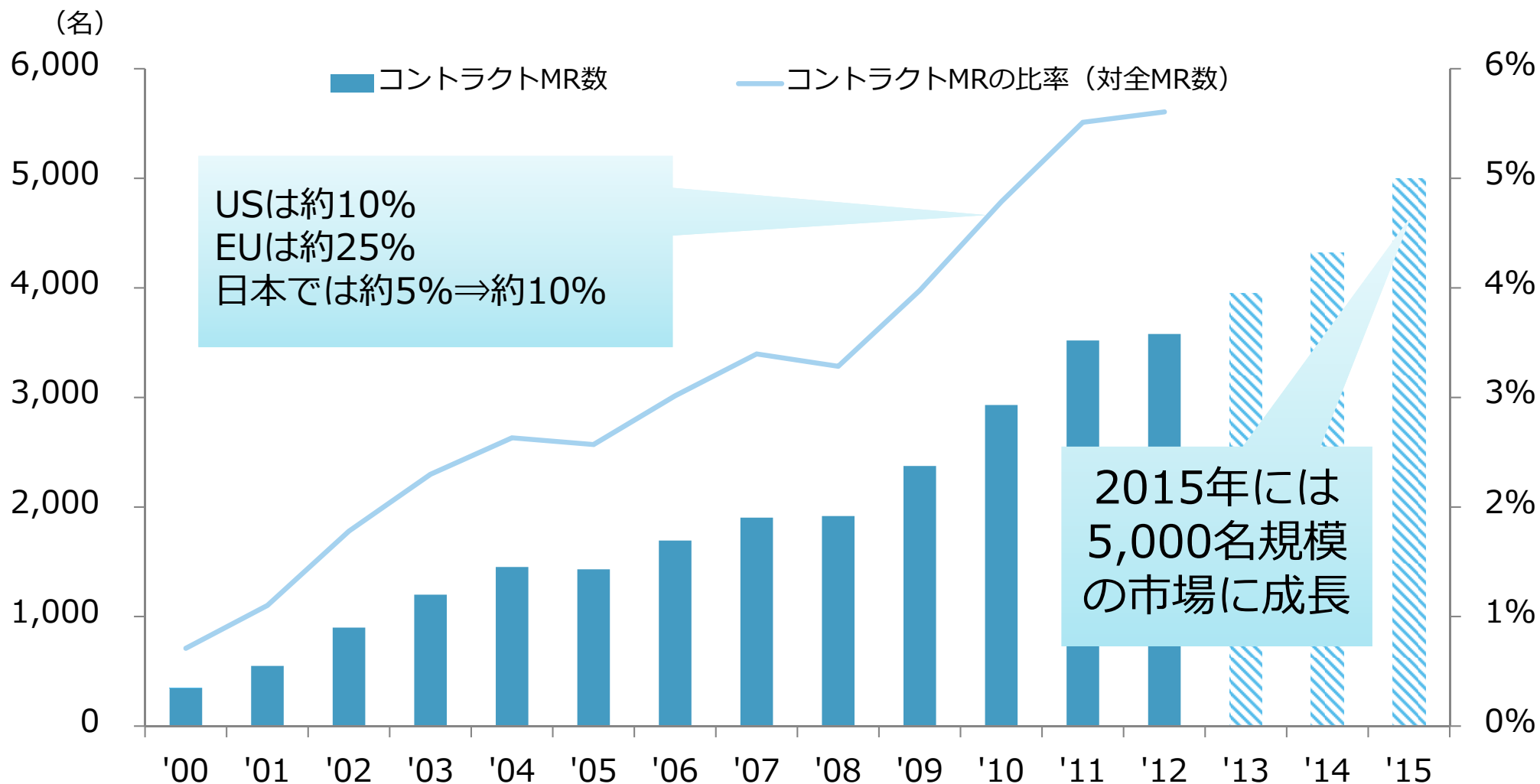
Pharmaceutical Value Creator





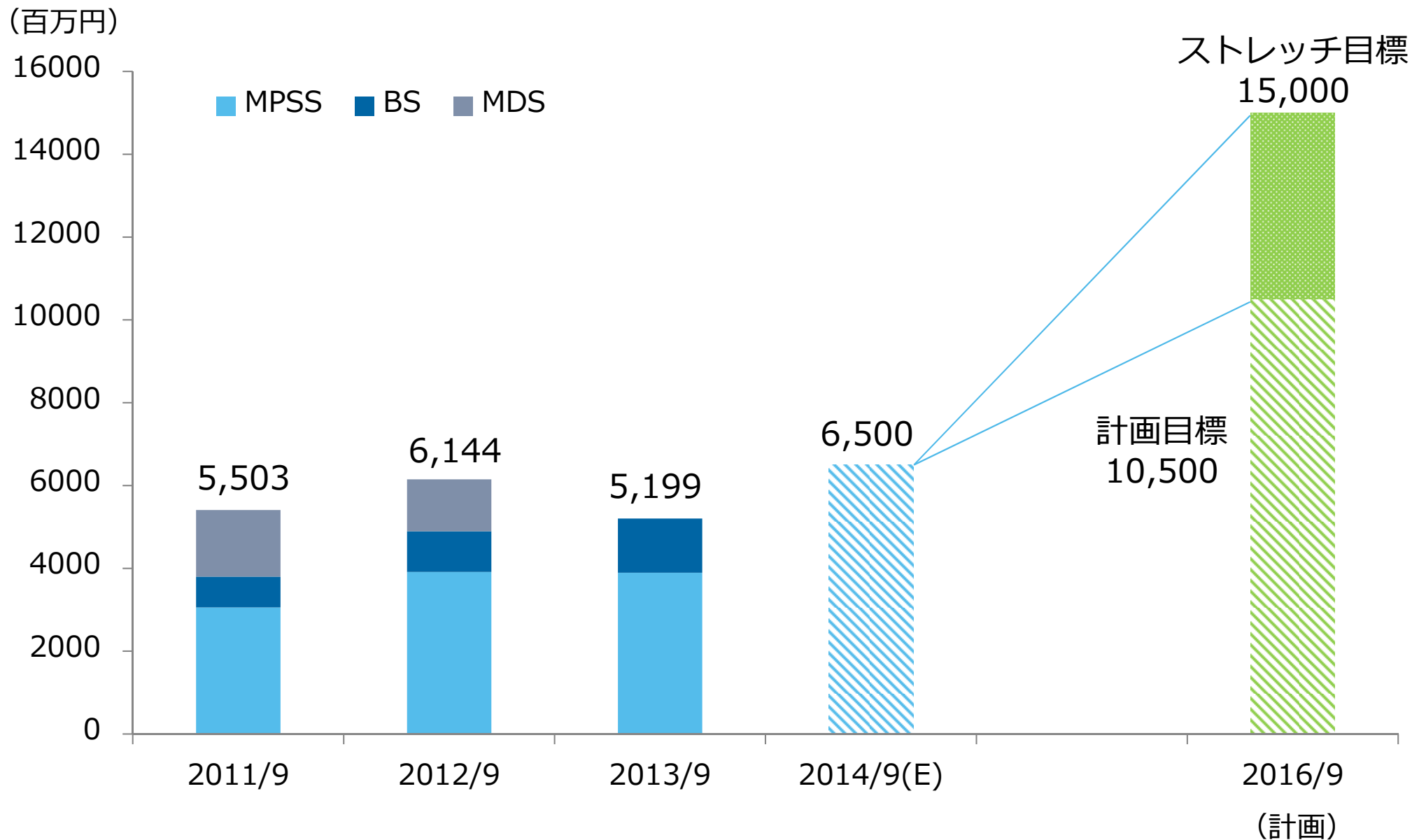
# 医薬品営業支援（CSO）業界の発展

## コントラクトMRの比率は欧米並みとなる見込み



出所：MR白書（2000～2012年の企業別MR数）／日本CSO協会

# CSO事業の売上高推移



# Ashfield社とのコラボレーション

- ◆ ヨーロッパ最大級、世界17拠点にネットワークを持つ、英国CSOのAshfield社と事業提携
  - 成熟したEU市場での経験に基づくコマмерシャル事業モデル（セールス&マーケティング等）の日本市場へ導入する



- グローバルに根ざした歴史
- セールス、マーケティング等のコマmercial事業モデル機能、パッケージング、物流等のサプライチェーンマネジメント機能



- 日本での事業実績、経験、顧客とのリレーションシップ
- 品質のあるサービスの提供
- グループ内のCRO、CMO、SMO、IPD事業等とのシナジー効果

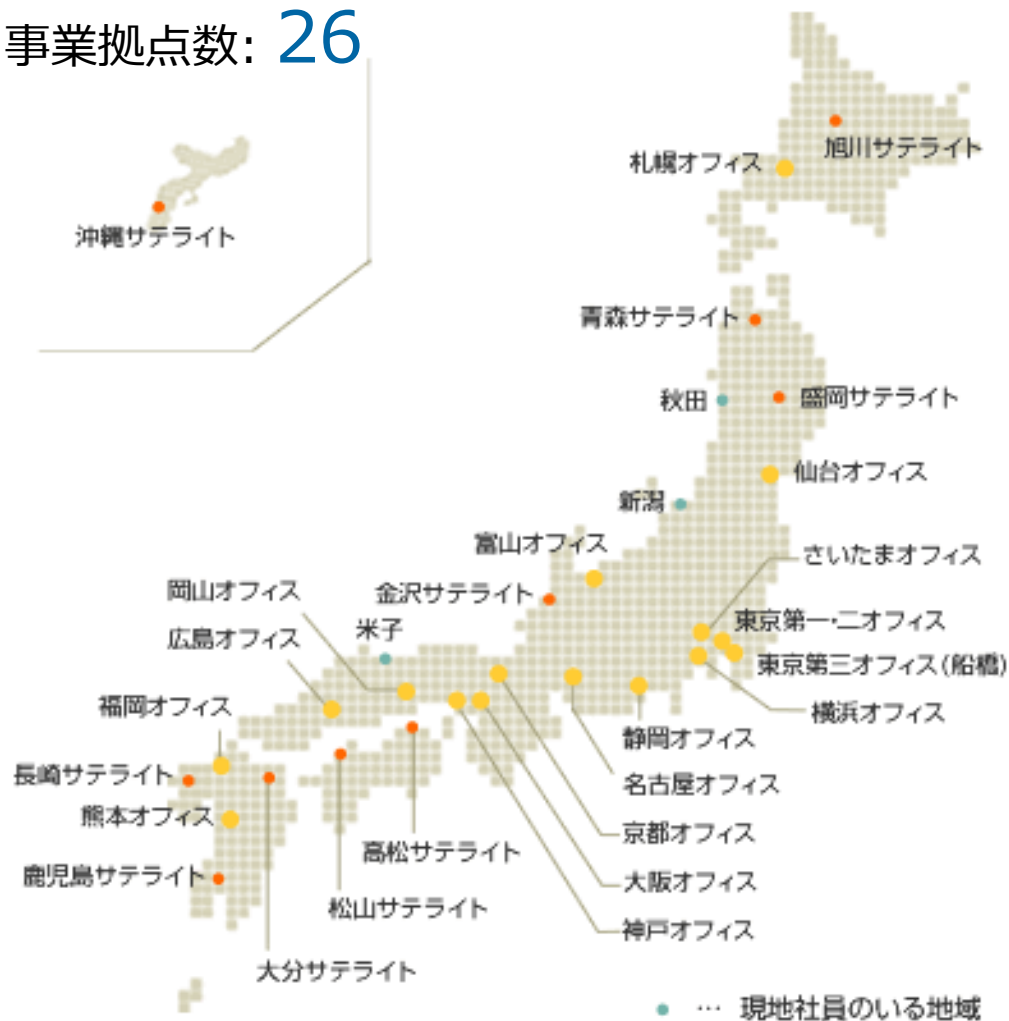
# 独自のビジネスモデル：PVC

Pharmaceutical Value Creator



# サイトサポート・インスティテュート (SSI)

事業拠点数: 26



## 日本最大の治験施設 支援企業 (SMO)

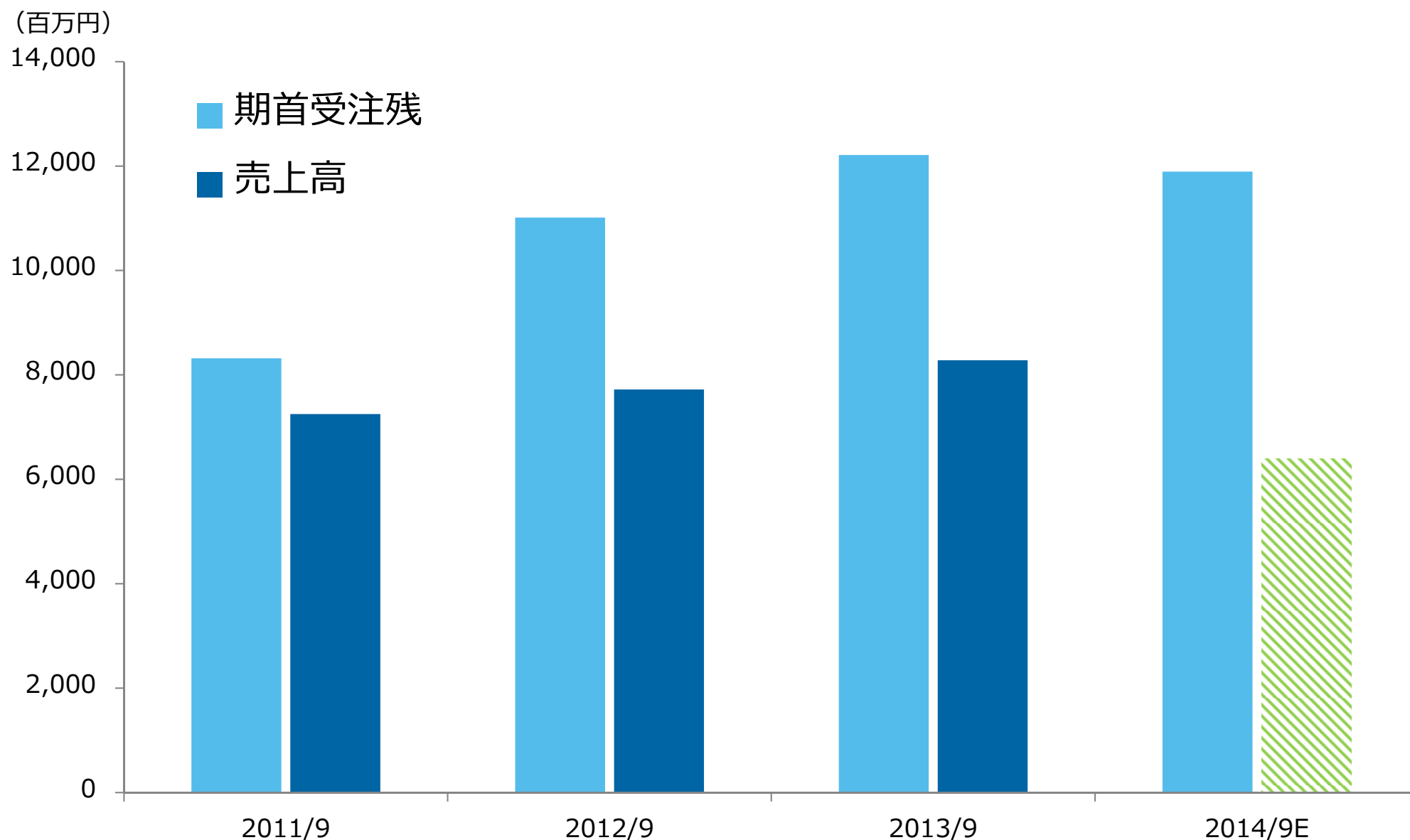
- ・プロトコール受託実績  
(2013年8月末現在)

	2,498
うち実施中	556
- ・提携施設数  
(2013年8月末現在)

	2,063
大学病院	62
病院	777
クリニック	1,224
- ・人員規模 (2013年10月末現在)

治験コーディネーター (CRC)	599
治験事務局担当者 (SMA)	158

# 期首受注残と当期売上高 (SSI)



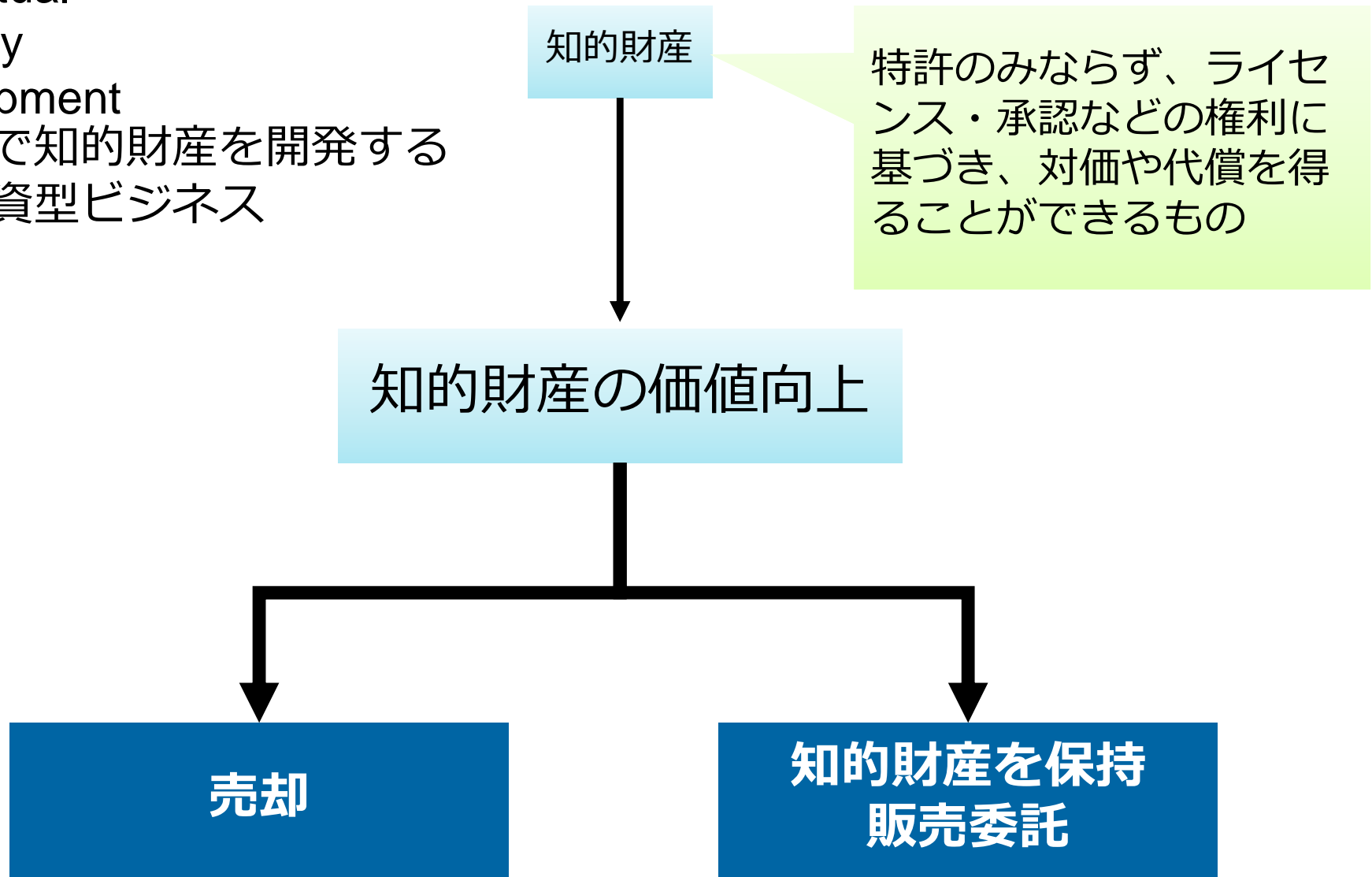
# 独自のビジネスモデル：PVC

Pharmaceutical Value Creator



# シミックにとっての知的財産開発（IPD）とは

**Intellectual  
Property  
Development**  
= 自社で知的財産を開発する  
先行投資型ビジネス





# L-FABP

Liver-type fatty acid binding protein  
(L型脂肪酸結合蛋白)

腎疾患の進行状況のバイオマーカー  
シミックが検査方法の特許を保有

# L-FABPバイオマーカーのビジネス戦略

## ◆ 診断薬としての承認取得・保険適用

- 特に腎臓病の予後診断のマーカーとして国際的に評価

## ◆ 動物でのスクリーニング系の確立

- 腎臓への副作用が少ない医薬品開発の促進

## ◆ 臨床試験の新規評価方法を開発

- ニューコンセプトドラッグの開発促進
- 大規模臨床試験での採用を目指す

# L-FABP診断薬の開発



日本

2010年9月 薬事承認取得  
**2013年8月 日本腎臓学会「エビデンスに基づくCKDガイドライン」のCKDモニタリングに適した指標として選定**



海外

2012年3月 KDIGO\*グローバルガイドラインによる急性腎障害 (AKI) を対象とした“five biomarkers”の一つに選定  
 2012年10月 EUの安全規格(CEマーク)に適合  
**2012年12月 デンマークでのIVD販売を開始**



# L-FABP ライセンス・販売状況



**CMIC**

Pharmaceutical Value Creator

L-FABPを使用した検査方法特許

## 自社開発・販売

2010年9月 製造販売承認取得  
2011年8月 保険適用



日本国内で体外診販売：  
特殊免疫研究所等と提携  
CMIC自販体制を整備



EUでIVD\*（CEマーク）販  
売：デンマーク販社と提携

## ライセンス供与

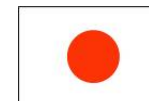
セキスイダイアグノスティックス社

（旧ジェンザイム社）



バイオテクノロジーの世界的  
リーディングカンパニー

富士レビオ株式会社



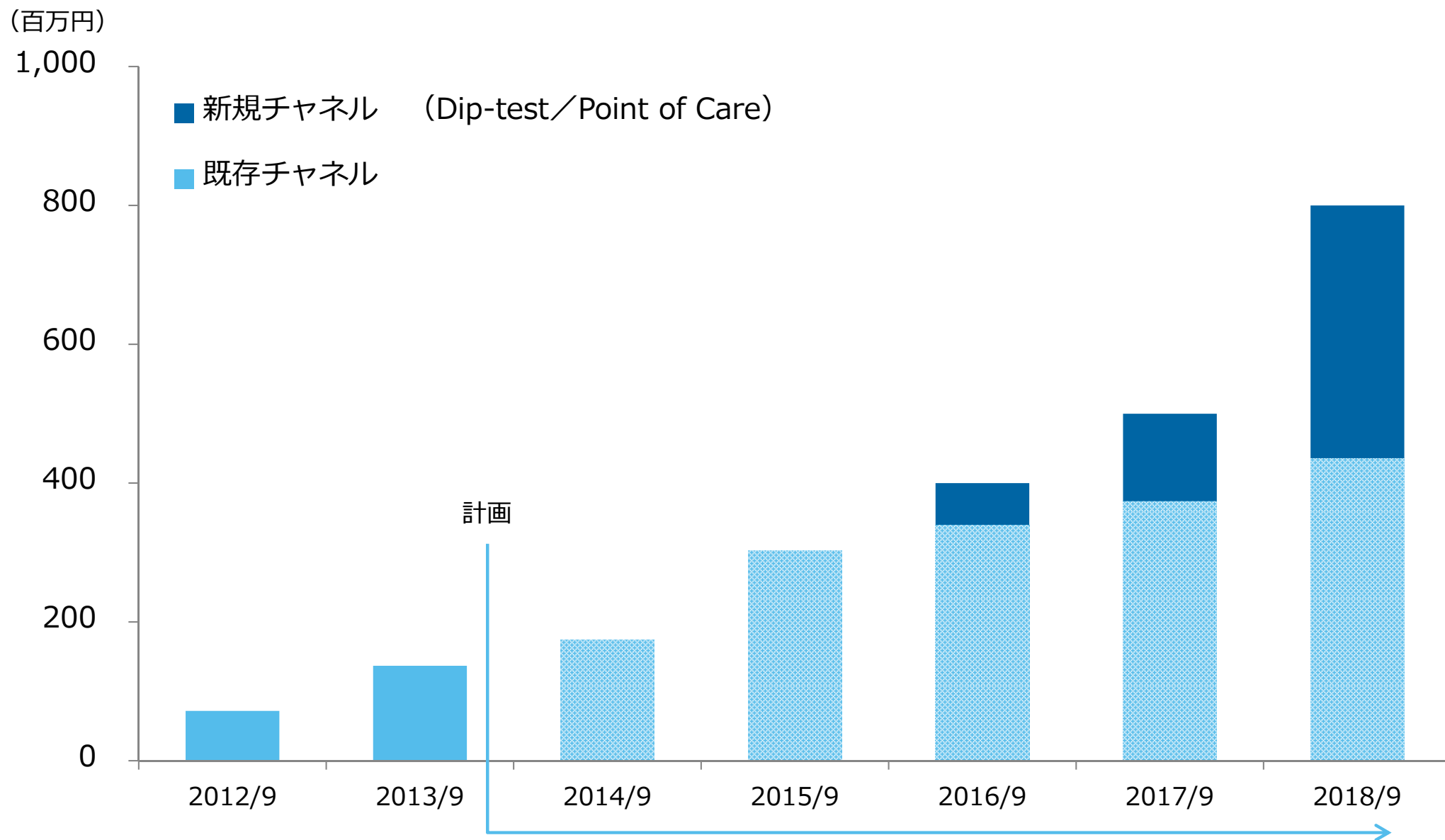
国内検査センター最大手  
SRLを傘下とするみらかHD

ロシュ・ダイアグノスティックス社

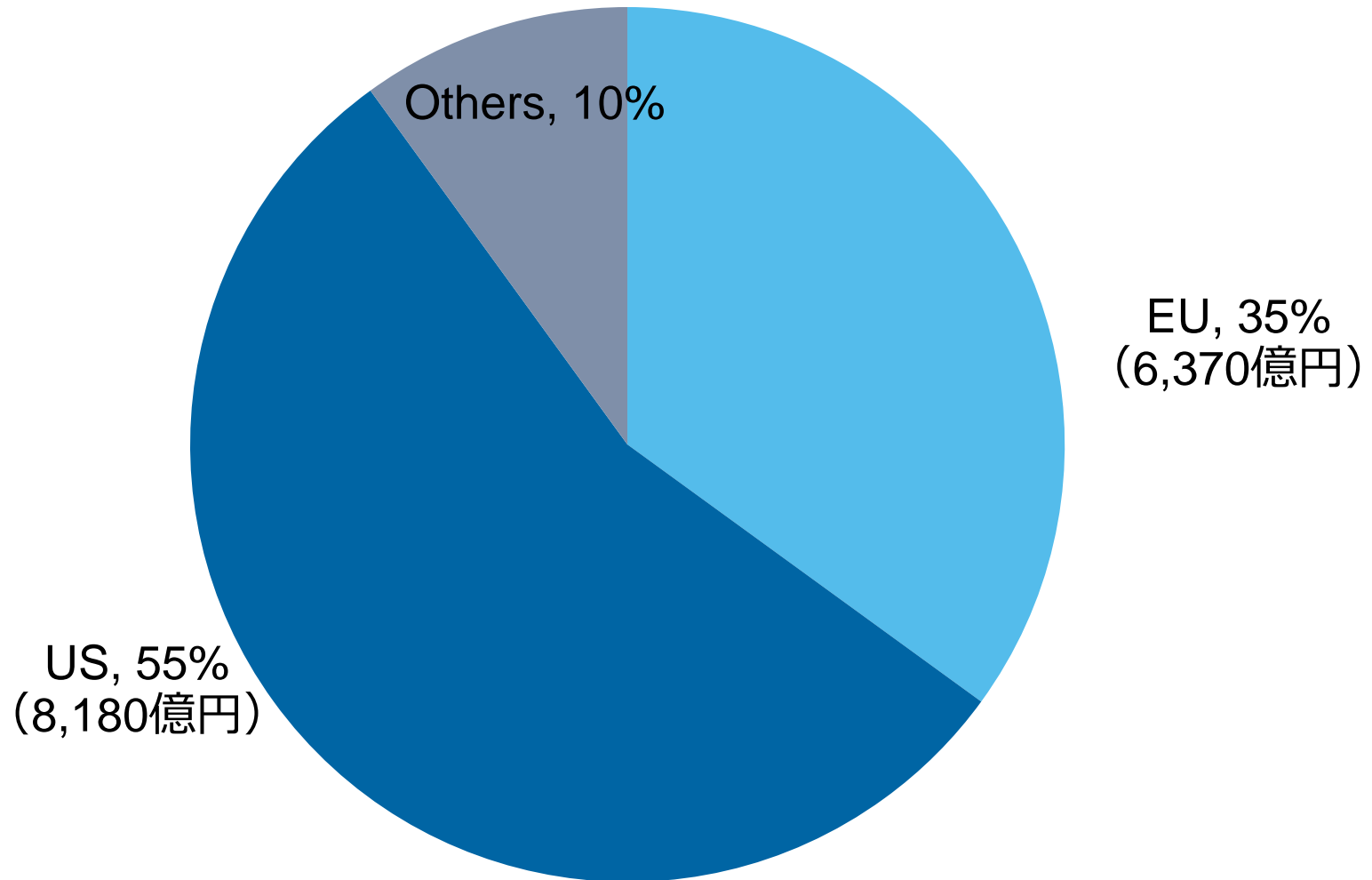


世界的に診断薬業界を牽引  
している診断薬メーカー

# L-FABP売上計画



# 全世界のPOC (Point of Care) キット市場



\* POC (Point of Care) 場所、測定者を問わない検査。結果を即座に医師が判断し、迅速な処置を施すことができる。

# 腎障害分野におけるPOCキットへの期待

## 腎障害の患者数

- ✓血管造影剤による急性腎障害（AKI）：200万人/年
- ✓心臓外科手術に関連したAKI：EUで90万人/年
- ✓敗血症など重篤なAKI：ICU搬送患者の内、650万人/年がAKIのリスク

⇒高い死亡率・既存の指標（血清クレアチニン）よりも**早期**マーカーが必要

- ✓糖尿病性腎症・CKDモニタリング：EU全域1200万人
- ✓高血圧に起因するCKD：EU全域4300万人
- ✓腎臓移植手術後モニタリング（EUの腎臓移植患者数）：1万人/年

⇒慢性疾病管理のための**在宅**モニタリングを可能にするPOCキットが必要

L-FABP Dip-test開発中

# USにおけるDip-testの臨床開発

北米

CE mark products

デンマーク  
フィンランド  
ドイツ  
オーストリア  
フランス

US・EUにおける  
医療政策



集学的治療と在宅医療



バイオマーカーの活用

Texas Medical Center  
The Methodist Hospital



Dip-testとイムノリーダー

Methodist, Baylor Clinic, Texas Heart, MD Anderson, etc...  
Houstonエリアに1万床以上の医療施設が集積  
Methodist病院だけで、年間65万人の患者、700の臨床試験

**臨床研究「在宅L-FABP尿検査による移植予後・CKD管理」開始**



# オーファンドラッグ の開発・販売

# オーファンドラッグ開発の意義

## ◆社会貢献の一環

## ◆開発ノウハウの蓄積

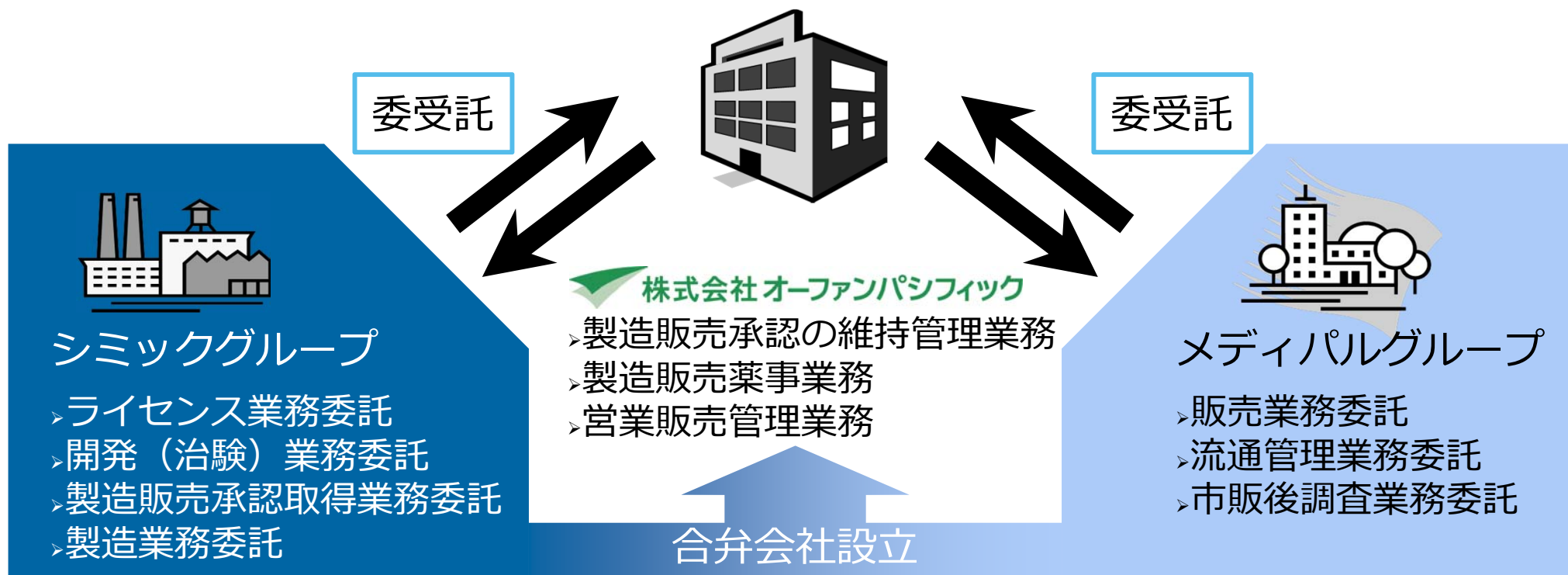
- 専門医師との関係強化
- 包括的な知識・経験の集積  
(ライセンス・行政対応など)

## ◆事業性の追求 (Royaltyビジネス)

# オーファンパシフィックの事業スキーム

シミックグループのCxOノウハウ  
+  
メディパルグループの販売・流通ノウハウ

市場規模が小さくても収益の上がる体制作り

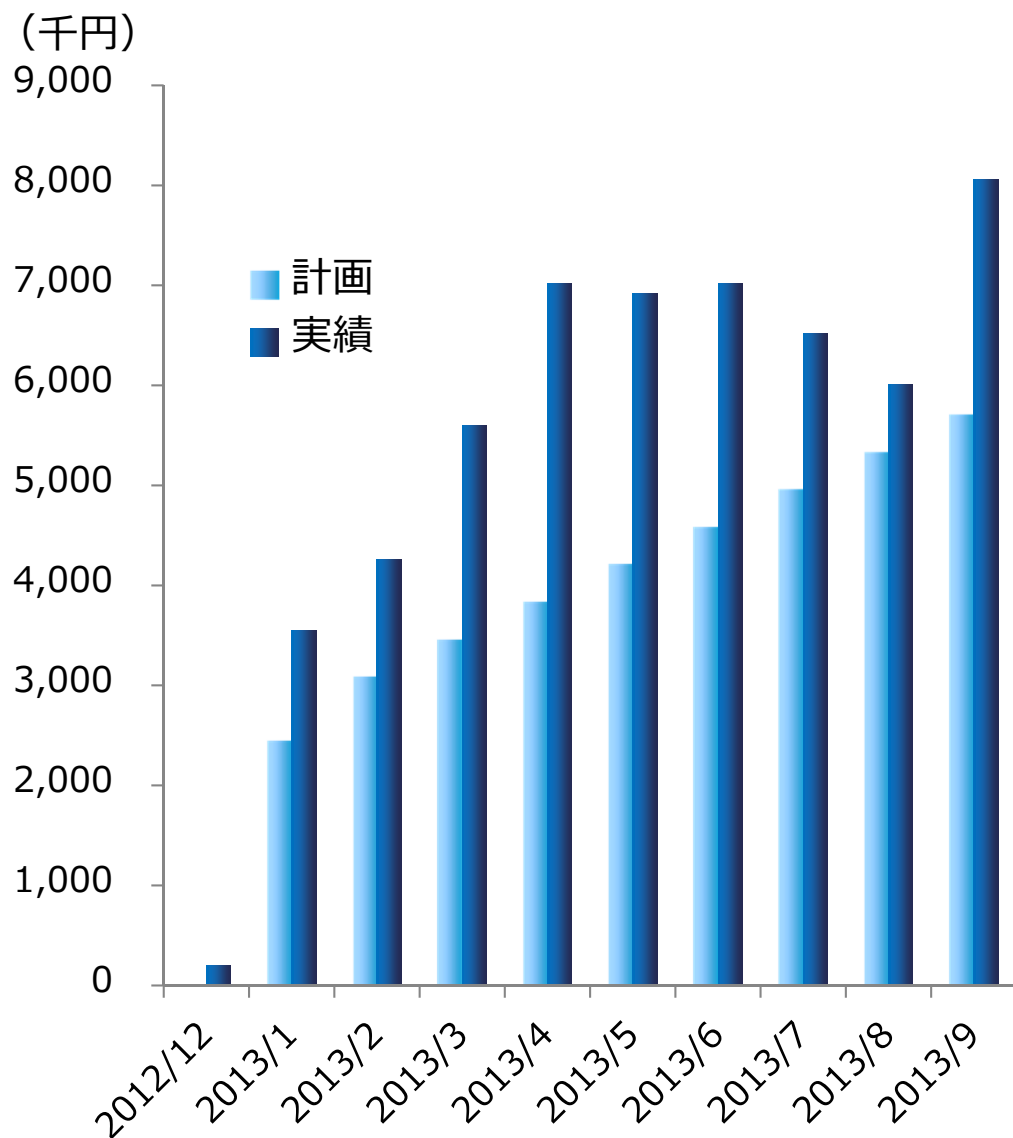


# 販売品目の概要

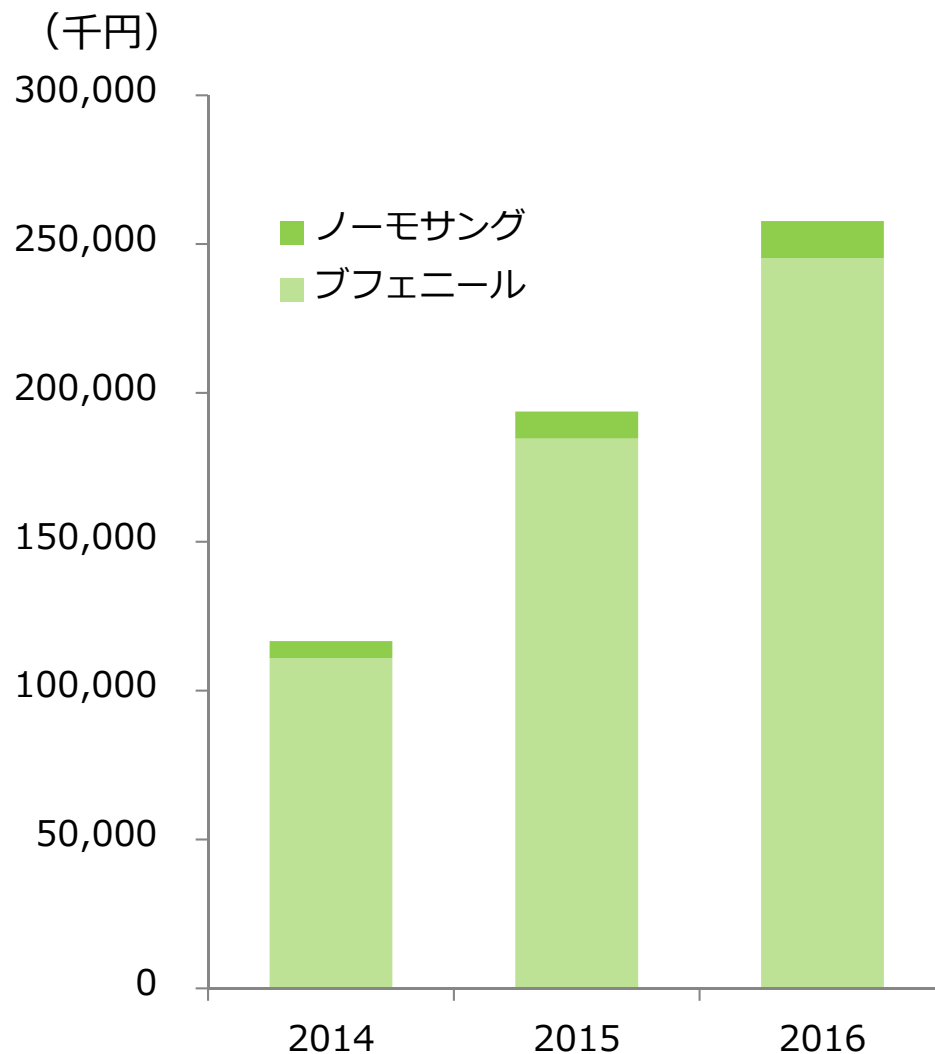
一般名	フェニル酪酸 ナトリウム	ヘミン
対象疾患	尿素サイクル異常症	急性ポルフィリン症
患者数	約200人	約30~40人
販売名	ブフェニール®	ノーモサング®
US	Buphenyl®	未開発
EU	Ammonaps®	Normosang®
ライセンス元	ユーサイクリッド社	オーファンヨーロッパ社
国内ライセンス契約締結	2010/5/24	2008/12/16
申請時期	2012/02	2012/03
承認時期	2012/09	2013/03
販売開始	2013/01	2013/08

# オーファンドラッグ（販売品目）の売上

## ブフェニール®の売上推移



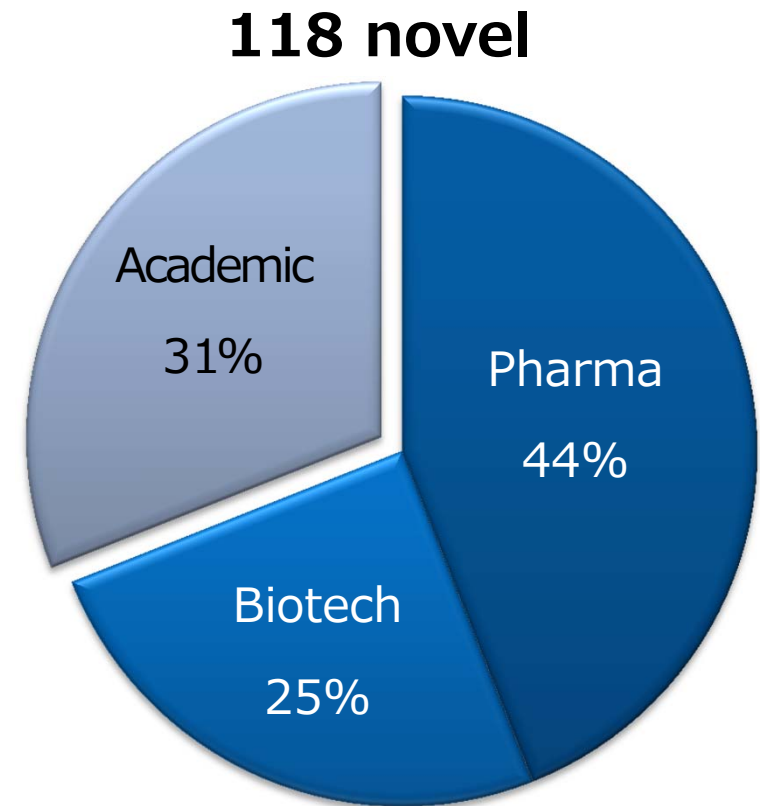
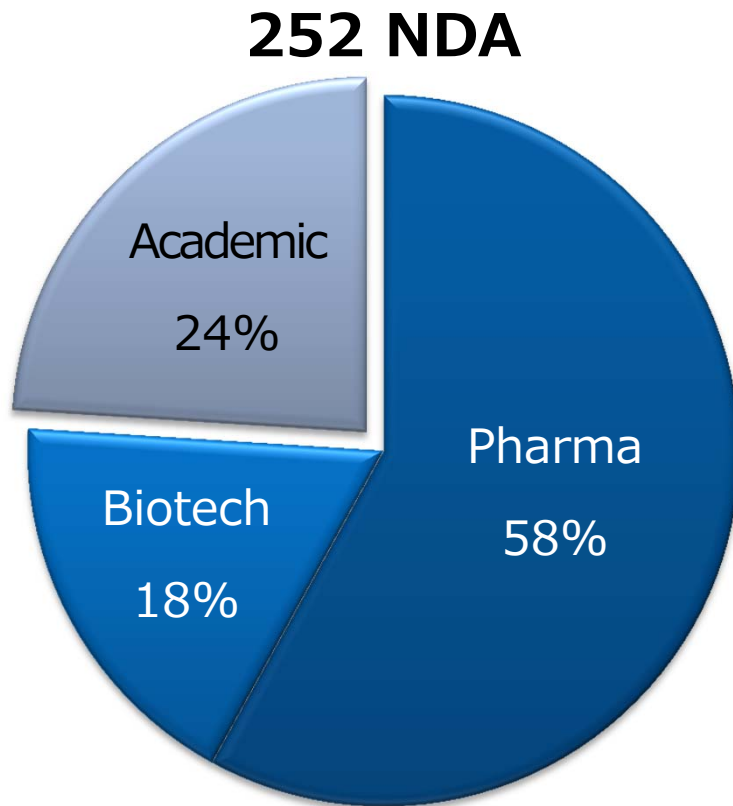
## オーファンパシフィック売上計画



～新薬開発のニュートレンド～  
アカデミアとの協働

# NDAに占めるアカデミアの割合

NDA(1998-2007)のうち24%（新有効成分では31%）がアカデミア発



\* NDA : 米国における新薬の承認申請

SOURCE : THE UNIVERSITY OF NORTH CAROLINA  
[www.pharmacy.unc.edu/cicbdd](http://www.pharmacy.unc.edu/cicbdd)

# 海外のアカデミア・製薬企業連携の成果

Drug	Type	Academia/NIH	Pharma
Altima	Antifolic acid agent for oncology	Princeton University	Eli-Lilly
Campath	mAb for B cell CLL	Univ of Cambridge, MRC	Genzyme
DOXIL	Doxorubicin liposome for ovarian cancer	Hebrew Univ, Hadassah Hospital	J&J
ELMIRON	Glycosaminoglycan for bladder pain	Univ of California	J&J

海外では、10億ドルを上回る売上高を持つ医薬品が、製薬メーカーとアカデミア・公的機関とのコラボレーションの中からすでに数多く生まれている

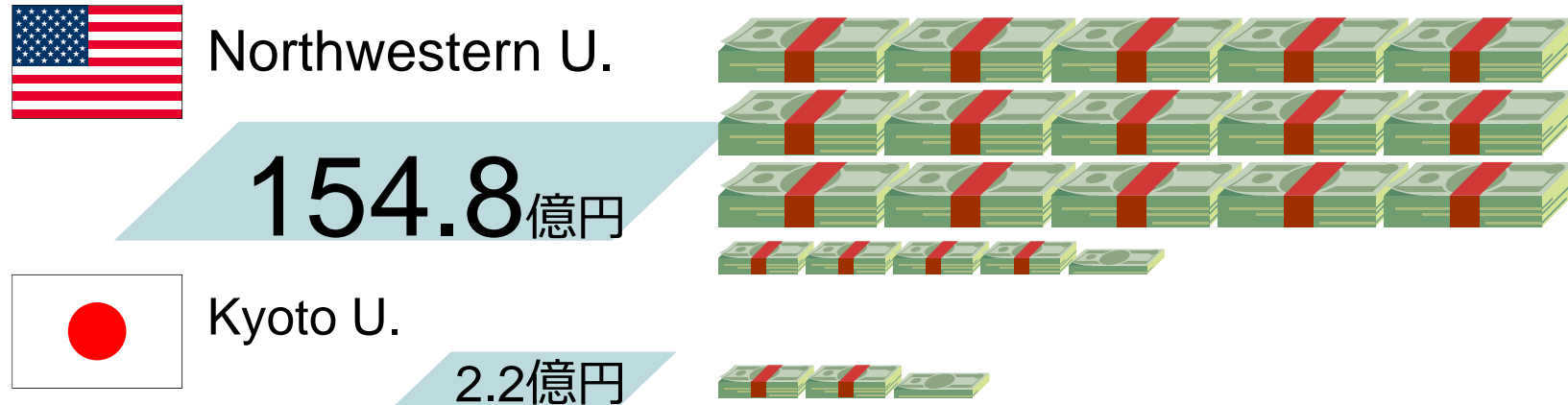
Myozyme	Recomb alpha-glucosidase for Pompe disease	Erasmus Univ Medical Ctr	Genzyme
NATRECOR	Hu B-type natriuretic peptide for CHF	Clinical Research Institute of Montréal / Washington University	J&J
Nizoral	Ketoconazole for dandruff treatment	Univ of Tennessee	J&J
Pepcid	Combination antacid & H2 antagonists for heartburn	Brigham and Women's Hospital	J&J/Merck
Prezista (TMC114)	Protease inhibitor for HIV	Univ of Illinois	J&J

SOURCE : THE OPEN CONFERENCE PROCEEDINGS JOURNAL, 2011, 2, 130-136

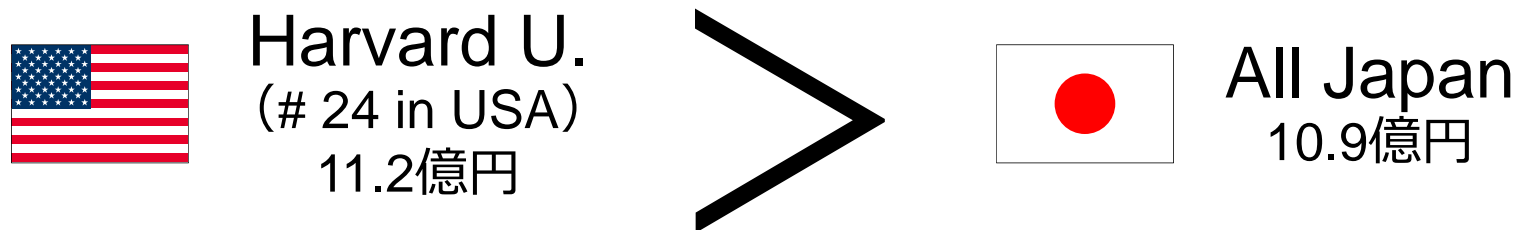


# 日米アカデミアの特許権収入比較 (薬以外含む)

米国と日本のもっとも特許権収入を得ている大学は？



日本のアカデミアの特許権収入は米国比1%未満



出所 (USAデータ) : Association of University Technology Managers Licensing Activity Survey FY2011

出所 (JPNデータ) : [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shinkou/sangaku/\\_\\_\\_icsFiles/afieldfile/2012/11/01/1327174\\_04.pdf](http://www.mext.go.jp/a_menu/shinkou/sangaku/___icsFiles/afieldfile/2012/11/01/1327174_04.pdf)

# アカデミアとの協働の方向性



# 製薬業界の変化に対する シミツクの取り組み

# 製薬業界の変化に対するシミックの取り組み

## ◆ グローバル化（日本⇄海外 / 海外⇄日本）

- グローバル人材の強化
- アジア戦略・海外現地人材強化
- 海外企業との提携強化

## ◆ ICTの活用

- CDISC（Clinical Data Interchange Standards Consortium）への対応
- 臨床研究／試験向けプライベートクラウド型プラットフォームの自社開発（Forum PLUS）

## ◆ アカデミア・バイオベンチャー支援

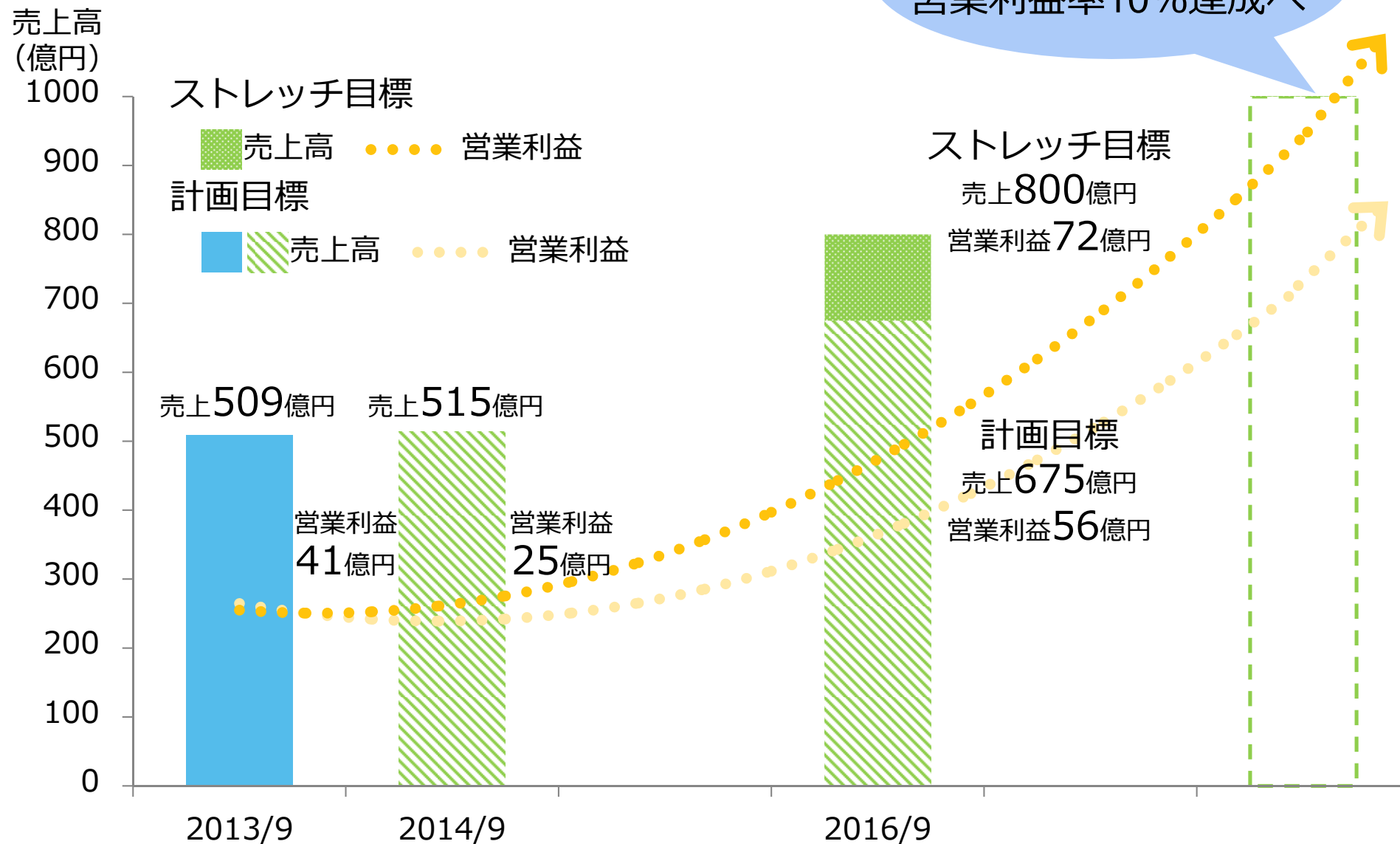
- 非臨床事業での支援（動物試験・CMC）
- ライセンスイン・アウト支援
- 医薬品開発プログラム支援

## ◆ 独自のビジネスモデルPVCの更なる強化

# 中期計數目標

# 中期計数目標

グループ売上1000億円  
営業利益率10%達成へ



# 中期計数目標（事業分野別）

	FY2013		FY2016 計画目標			FY2016 ストレッチ目標		
	売上高 (億円)	営業 利益率	売上高 (億円)	CAGR	営業 利益率	売上高 (億円)	CAGR	営業 利益率
治験支援 (CRO)	215	19.9%	273	8.4%	19.1%	305	12.5%	18.9%
製造支援 (CMO)	159	8.1%	201	8.0%	6.3%	210	9.7%	6.6%
営業支援 (CSO)	52	8.6%	105	26.4%	10.9%	150	42.4%	10.8%
ヘルスケア (SMO+HC)	89	7.3%	96	2.9%	8.5%	115	9.0%	11.3%
知的財産開発 (IPD)	3	-	15	73.5%	-	45	151.2%	2.2%
調整（相殺及 び全社費用）	△8	-	△15	-	-	△25	-	-
合計	509	8.2%	675	9.8%	8.4%	800	16.2%	9.0%

## 本資料お取り扱い上のご注意

本資料で記述されている将来予測等は、当社が現在得ている情報をもとになされた当社の判断に基づくものであり、既知あるいは未知のリスクや不確実な要素が含まれています。実際の結果は、様々な要因によりこれら将来に関する記述内容とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

医薬品（開発中の物を含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。